LoiLoFit for Everio

[マニュアル]

株式会社　LoiLo

[2013/02/28]

[本書は、Everio のバンドルソフトウエア LoiLoFit for Everio のマニュアルです。]

目次

1. LoiLoFit for Everio でできること 5
2. LoiLoFit for Everio をはじめよう 6
  2-1.　起動方法 6
  2-2.　終了方法 6
3. 各部の名称を覚えよう 7
  3-1.　　各モードの名称 7
4. LoiLoFit for Everio の基本操作を学ぼう 9
  4-1.　操作手順 9
    ■ カメラの「パソコンと接続」メニューから LoiLoFit for Everio を起動した場合 9
    ■ ホーム画面で目的を選択 9
    ■ ステップごとの操作をして目的完了 10
  4-2.　動画や写真、音楽を選択 10
    ■ 選択 10
    ■ やめる 13
5. ホーム　動画や写真を見る 14
  5-1. カレンダー、日付順リスト 14
    ■ カレンダー 14
    ■ 日付順リスト 15
  5-2. プレビュー 16
    ■ プレビュー再生 16
    ■ ファイルの詳細情報表示 16
  5-3. 全画面再生 17
6.　バックアップ　撮影した動画や写真をパソコンに保存しよう 18
  6-1.　バックアップ 18
    ■ 選択 18
    ■ 保存 20
    ■ バックアップ確認 20
    ■ ファイルの削除 21
7. スライドショー: 保存した動画や写真を連続再生 22
  7-1.　全画面で再生 22
    ■ 選択 22
    ■ 再生 23
8. 動画編集: 好きな動画や写真を音楽と組み合わせて動画を作ろう 24
  8-1.　動画編集 24
    ■ 選択 24
    ■ 並べる 24
    ■ 効果 31
    ■ 動画、文字のレイアウト 39
    ■ 効果 41
    ■ 再生 45
    ■ 保存 46
    ■ プロジェクトファイルを開く 48

9. ディスク　ビデオディスクを作ってみよう 49
9-1.　AVCHD ディスク, DVD, ブルーレイディスク作成 49
■ 選択 50
■ 並べる 50
■ ディスク作成 51
■ 再生 52
9-2.　ダイレクト AVCHD ディスク, ダイレクトブルーレイディスク 52
■ 並べる 53
■ ディスク作成 53
■ 再生 53
9-3.　AVCHD ディスクを再生する 53
■ 再生 53
10. 動画変換: 動画を変換して持ち歩こう 54
10-1.　動画ファイルへ変換 54
■ 選択 54
■ 保存 54
10-2.　iPhone, iPad で見る 55
■ 選択 55
■ 保存 55
11. アップロード: 家族や友達と共有しよう 56
11-1.　YouTube アップロード 56
■ 選択 56
■ アップロード 57
12. ワイヤレスでパソコンにバックアップ 58
12-1.　お手軽保存 58
■ カメラを WiFi へ接続する 58
■ ワイヤレスでバックアップする 58
■ 「お手軽保存」ができない？ネットワークの場所の設定 59
■ 「お手軽保存」ができない？Windows でのファイアウオール設定方法 60
■ お手軽保存ができない(サードパーティー製セキュリティソフト) 63
13. USTREAM で、世界に向けて動画配信 64
13-1.　USTREAM でリアルタイム配信する 64
■ カメラを WiFi へ接続する 64
■ USTREAM のアカウントを作る 64
14. 地図と一緒に、動画や写真を見る 68
14-1.　Google Earth と一緒に見る 68
■ Google Earth のインストール方法 68
■ 選択 69
■ 再生 69
■ 保存 71
■ Google Earth で保存した KMZ データを見る 71
15. オプション設定 73
15-1.　ファイルメニュー 73
15-2.　オプション設定 74
16. キーボードショートカット 76

17. 動作環境 77
18. 対応形式 78

1. LoiLoFit for Everio でできること

カメラからパソコンに動画や写真を保存する

	撮影した動画や写真をパソコンに保存します。	18

撮影した動画や写真を見る

	動画や写真をパソコンの全画面で再生します。	22

誰でもできる簡単動画編集

	素材を選ぶだけの動画の自動編集や、詳細な設定が可能です。	24
	テキスト・BGM・エフェクトを加えてプロ並みの動画を作成できます。	31

ビデオディスク作成

	作成した動画でビデオディスクを作成できます。 ※ブルーレイディスク作成は有料版のみ対応 ※AVCHD ディスク作成機能は、アップデートでの対応	49
Direct	Everio から直接ビデオディスクを作成できます。 ※ブルーレイディスク作成は有料版のみ対応 ※ダイレクト AVCHD ディスク作成機能は、アップデートでの対応	52

できた動画を持ち歩く

	動画ファイルの変換をします。	54
	iPhone, iPad で動画を見ることができます。 ※有料版のみ対応	55

友達や家族と動画を共有

YouTube	YouTube への一括アップロードができます。	56

2. LoiLoFit for Everio をはじめよう

2-1.　起動方法

LoiLoFit for Everio をインストールすると、デスクトップにアイコンが作成されます。ダブルクリックして、起動します。

LoiLoFit for Everio を初めてお使いになる時は、アクティベーションが必要です。
画面に表示される案内に従ってアクティベーションしてください。

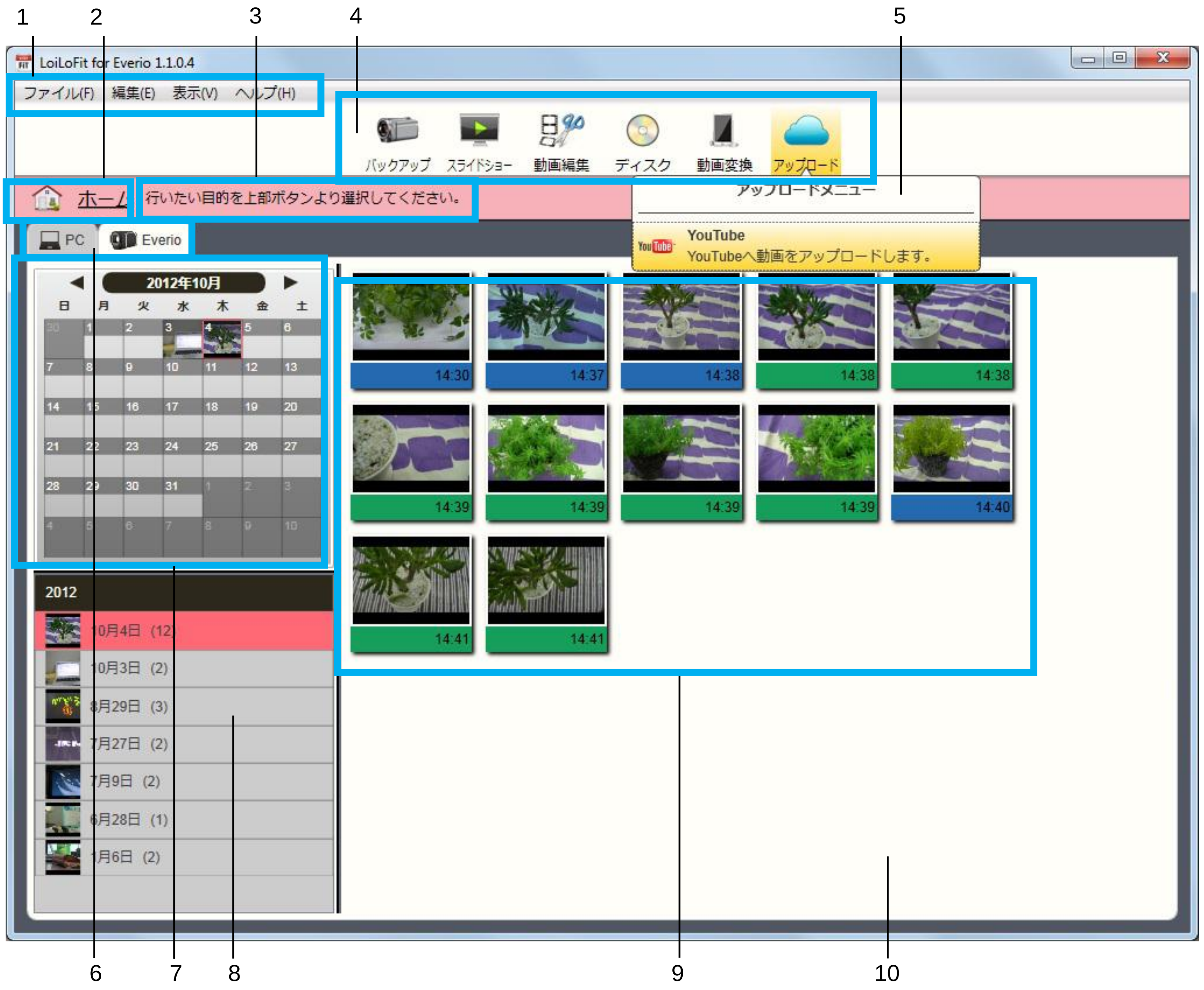
2-2.　終了方法

画面右上の x ボタンで終了します。

左から　最小化する・画面を縮小する・終了する

3. 各部の名称を覚えよう

3-1. 各モードの名称



1	**メニューバー**	詳細設定やマニュアルの表示などができます。
2	**モードガイド**	現在のモードを表示します。
3	**ガイド**	操作の内容を説明します。
4	**モードバー**	目的のモードを選びます。
5	**プルダウンメニュー**	モード項目を選びます。
6	**記録メディア選択タブ**	素材の保存されている場所を選びます。 ※Everio 本体メモリー、SD カード、バックアップ HDD(Everio と直結してバックアップした HDD)は、それぞれ、Everio と同じ名前で 2 つタブが表示されます。
7	**カレンダー**	詳細設定で日曜始まり、月曜始まりを切り替えられます。 日付表示形式は言語の種類によって自動的に変更されます。

8	**日付リスト表示**	メディア選択タブで選択した保存場所にある動画・写真・音楽の日付をリスト表示します。
9	**サムネイル**	カレンダーや日付リストで指定された動画や写真、音楽を表示します。 時刻が右下へ表示されます。 マウスホバーで再生、ホイールの操作で早送り巻き戻しができます。
10	**選択トレイ**	動画、写真、音楽のサムネイルが表示されます。

4. LoiLoFit for Everio の基本操作を学ぼう

4-1.　操作手順

■ カメラの「パソコンと接続」メニューから LoiLoFit for Everio を起動した場合

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続して、カメラの「パソコンと接続」メニュー画面から目的の項目を選択すると、LoiLoFit for Everio が、それぞれの目的に応じたモードで起動します。起動後は、各モードでステップを進めてください。

カメラのメニュー項目	LoiLoFit for Everio の起動モード
パソコンで見る	ホーム
ディスクを作成する	ディスク(AVCHD ディスク)
ダイレクトディスク	ディスク(ダイレクト AVCHD ディスク)
アップロードする	アップロード(YouTube)
バックアップする	バックアップ

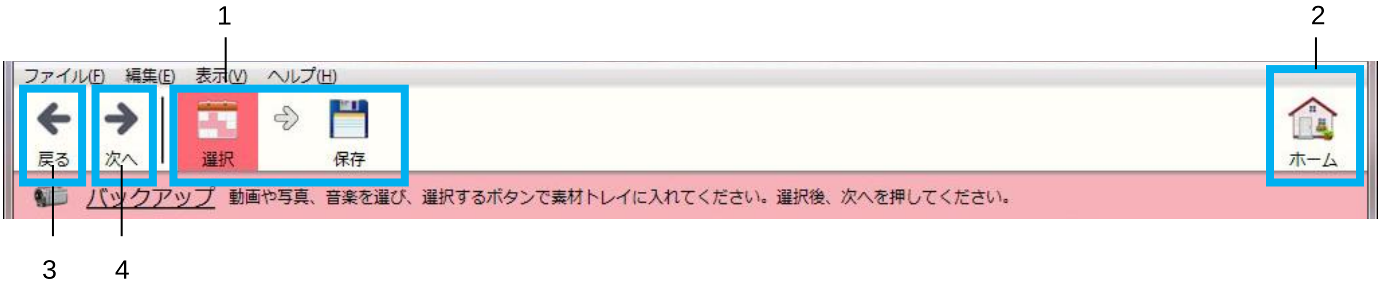
■ ホーム画面で目的を選択

LoiLoFit for Everio の基本操作の流れを説明します。起動時に表示される画面が、ホーム画面といいます。
ホーム画面では、動画を再生したり、写真を見たり、音楽を聴いたりすることができます。
LoiLoFit for Everio は、様々なモードをモードボタンの選択で開始できます。
ホーム画面上部のモードバーより、目的の機能を選択してください。

モードボタン	モードボタンの各種機能
バックアップ	カメラで撮影したファイルをパソコンにバックアップします。
スライドショー	全画面で再生します。
動画編集	動画や写真を編集します。
ディスク	編集した動画ファイルをディスクに焼きます。
動画変換	WMV および、デバイスに変換します
アップロード	Web サイト上にアップロードします

■ ステップごとの操作をして目的完了

モードボタンを選択すると、モードごとのステップアイコンに表示が変わります。ステップごとに操作を行うことで、目的の動作を完了できます。ステップは、<戻る><次へ>ボタン、または、各ステップアイコンを選択することで、ステップを進めることができます。右側の<ホーム>アイコンを選択することで、ホーム画面に戻ります。
モードバー下のガイドにはそれぞれのステップごとのガイドを表示します。
※各ステップアイコンは仕様上、ステップを飛ばして選択できない場合があります。

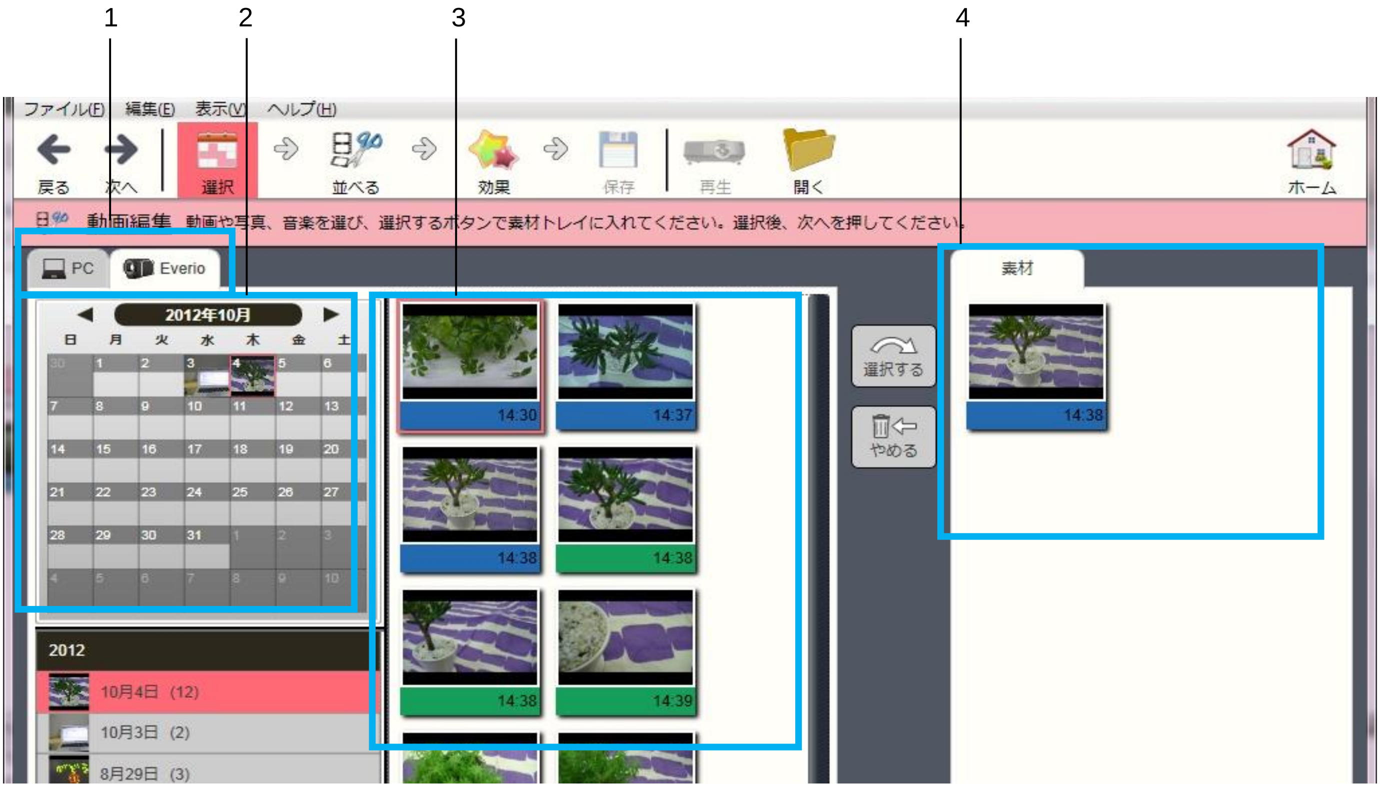


1	**ステップアイコン**	ステップを直接選択できます。
2	**ホームアイコン**	ホーム画面に戻ります。
3	**戻るボタン**	1 つ前のステップに戻ります。
4	**次へボタン**	1 つ次のステップへ進みます。

4-2.　動画や写真、音楽を選択

■ 選択

モード選択後、使用したい動画や写真、音楽などの素材を選択するステップに移行します。
サムネイルを選択し、<選択する>ボタンまたはドラッグ＆ドロップで、素材トレイに素材のサムネイルを追加します。
日付が異なる素材を一緒に使うときは、カレンダーまたは日付リストを使ってサムネイル表示を切り替えます。



手順 1	カレンダーまたは日付リストから、素材ファイルの日付を選択します。
手順 2	サムネイルをクリックするか、CTRL＋クリックまたは矩形選択で使用する素材を複数選択します。(矩形選択とは、マウスをドラッグして生成される長方形の選択範囲により、触れたサムネイルを複数選択する方法です。選択されたファイルはピンク色の枠線になります。)
手順 3	ドラッグ＆ドロップまたは、<選択する>ボタンを押して素材トレイにサムネイルを追加することで、選択完了です。
手順 4	選択が完了したら<次へ>ボタン、または、ステップアイコンを押して、ステップを進めてください。

1	**記録メディア選択タブ**	素材が保存されている場所を選びます。 ※Everio 本体メモリー、SD カード、バックアップ HDD(Everio と直結してバックアップした HDD)は、それぞれ、Everio と同じ名前で 2 つタブが表示されます。
2	**日付リスト表示**	メディア選択タブで選択した保存場所にある動画・写真・音楽の日付をリスト表示します。
	カレンダー	詳細設定で日曜始まり、月曜始まりを切り替えられます。 日付表示形式は言語の種類によって自動的に変更されます。
3	**選択トレイ**	カレンダーの日付の中にあるデータが表示されます。 バックアップされたデータを日付ごとに表示します。 マイピクチャ、マイミュージック、マイビデオの中に入っている対応形式のデータも日付ごとに表示されます。

	動画ファイル	動画のデータは、青い帯のついたサムネイルとして表示されます。
	写真ファイル	写真のデータは、緑の帯のついたサムネイルとして表示されます。
	音楽ファイル	音楽のデータは、紫の帯のついたサムネイルとして表示されます。
	GPS アイコン	位置情報がついている動画や写真に、このアイコンが表示されます。 このアイコンがついているデータは、撮影した場所を Google Earth で見ることができます。
	プログレッシブアイコン	カメラのシステムセレクトの、プログレッシブモードで撮影された動画に、このアイコンが表示されます。このアイコンが表示されている動画は、動画編集で扱うことができません。（プログレッシブ記録対応モデルのみ）
4	**素材トレイ**	選択トレイから選択したデータが表示されます。

※画像データを含まない音楽ファイルやサムネイル作成中のファイルのアイコン表示は、エクスプローラーのアイコンと同じようになります。

※サムネイルの画像が表示されるまで、多少時間がかかる場合があります。

複数選択

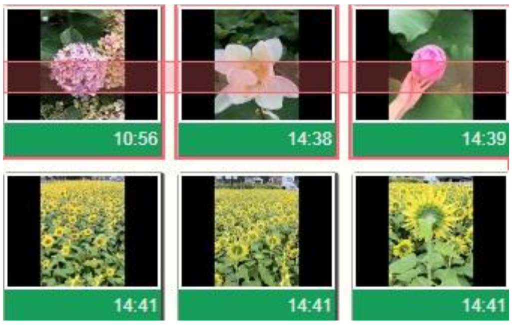
サムネイルを選択するには、サムネイルをクリックする以外に、2 つの複数選択方法があります。

キーボードの CTRL+クリック

CTRL キーを押しながら 1 つ 1 つサムネイルをクリックして、複数のファイルを選択する方法です。

矩形選択

サムネイルのない場所から、マウスをドラッグして長方形の選択範囲(矩形)を作って、そのエリア内にあるファイルを複数選択する方法です。



■ やめる

素材トレイからサムネイルを削除するには、素材トレイのサムネイルを選択し、<やめる>ボタンを押します。
※この操作では、素材のファイル自体が削除されることはありません。

手順 1	サムネイルをクリックするか、または矩形選択で目的のファイルを選択します。 (選択されたファイルはピンク色の枠線になります)
手順 2	<やめる>ボタンを押すことで、素材トレイからファイルが削除されます。

5. ホーム　動画や写真を見る

5-1. カレンダー、日付順リスト

■ カレンダー

1	**メディア選択タブ**	カレンダーで表示したい動画や写真が保存されている記録メディアを選択します。
2	**▶ボタン**	クリックで次の月を表示します。
3	**◀ ボタン**	クリックで前の月を表示します。
4	**日付サムネイル**	日付をクリックすることで、日付トレイにその日に撮影したファイルのサムネイルが表示されます。

選択できる記録メディアは､パソコンのメイン HDD と Everio で記録したメモリーカードまたは､内蔵メモリー､Everio でダイレクトバックアップした外付け HDD です。
<PC>タブで表示する素材は、Everio で記録した動画や写真をバックアップしたもの、およびマイピクチャ、マイビデオ、マイミュージックに含まれていて、LoiLoFit for Everio で扱える形式のファイル(18.対応形式　参照)です。
カレンダーの表示方法(日曜始まりか月曜始まり)を変更することができます。
詳しくは、「15-2. オプション設定」をご参照ください。

■ 日付順リスト

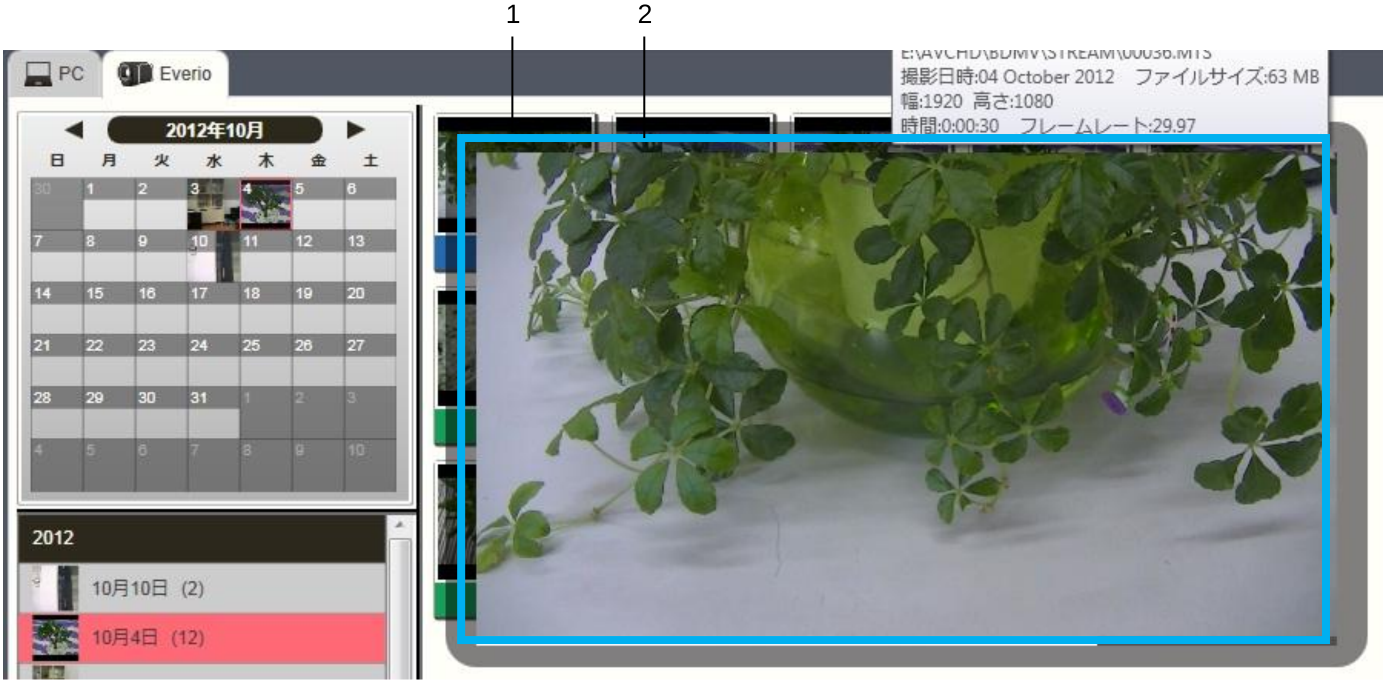
カレンダーの下に表示され、撮影日の新しいものから順にリストに表示されます。

1	**スライダーバー**	上下にスライドさせて、見たい日付を探します。
2	**日付欄**	この日付欄をクリックすることで、選択トレイに撮影したファイルのサムネイルが表示されます。
3	**ファイル数**	カッコの中の数字は、その日に撮影されたファイルの数を表しています。

5-2. プレビュー

選択トレイのサムネイルの上にマウスカーソルを移動すると、プレビュー再生とファイルの詳細情報を表示します。

■ プレビュー再生



1	**サムネイル**	ファイルのサムネイルです。
2	**プレビュー**	マウスを重ねているファイルのプレビューです。 ファイルが動画の場合、自動で再生されます。

※ホイールマウスをご利用の場合、プレビュー中にホイールを前に回すと早送り、後ろに回すと巻き戻しになります。

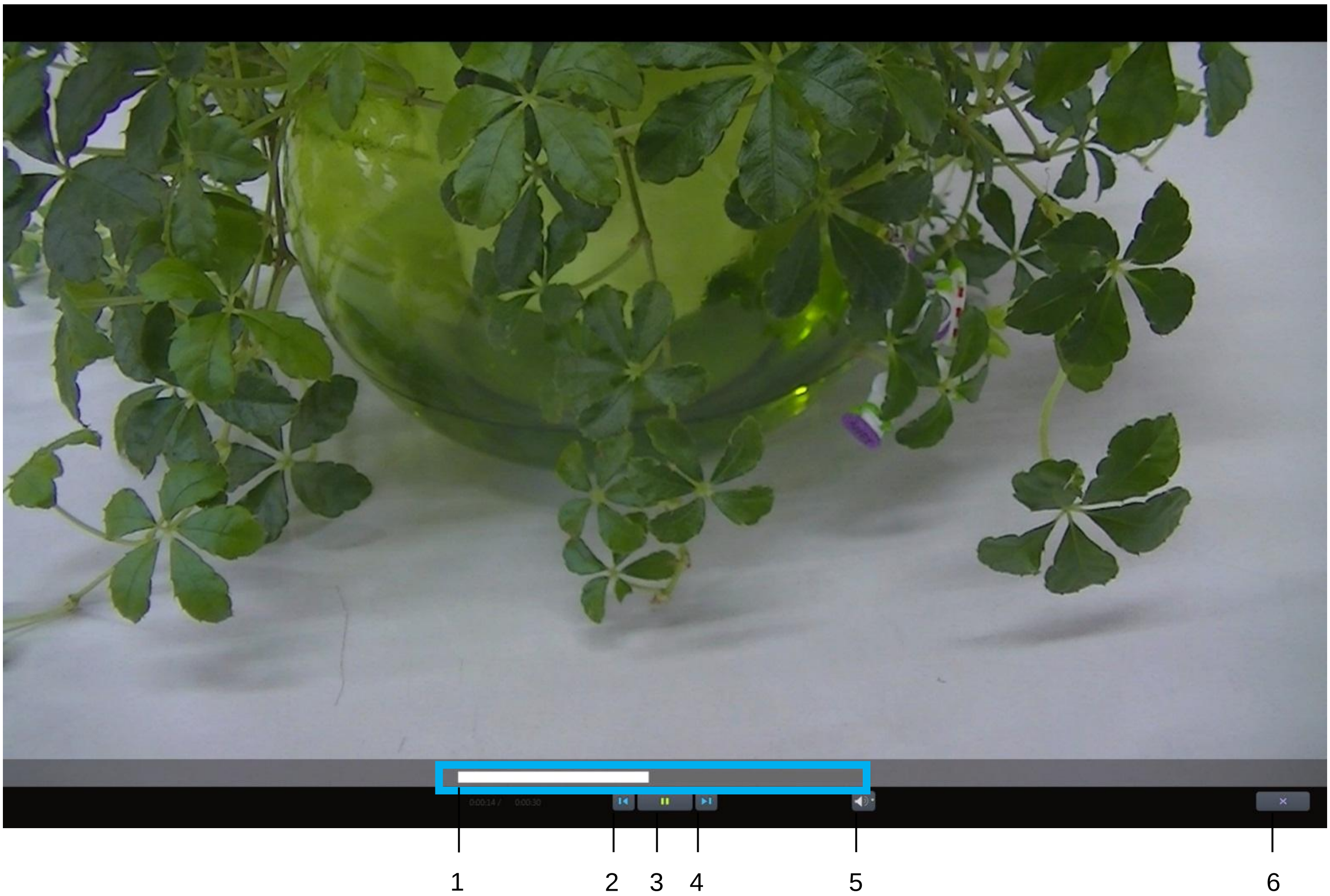
■ ファイルの詳細情報表示

1	**ファイル名**	ファイルの名前
2	**撮影日時**	ファイルが撮影された日時
3	**ファイルサイズ**	ファイルのサイズ
4	**幅**	ファイルの幅(ピクセル)
5	**高さ**	ファイルの高さ(ピクセル)
6	**時間**	音楽や動画の時間
7	**フレームレート**	1 秒あたりに何コマ処理されるかの数値

※ファイルの種類によって表示に違いがあります。

5-3. 全画面再生

サムネイルをダブルクリックすると、全画面再生になります。
選択されたファイルは、撮影日時順に再生されます。
一番新しいファイルの次は、一番古いファイルになります。
×ボタンを押すことで全画面<再生>を終了します。



1	**シークバー**	再生したい位置をクリックするとジャンプします。
2	**前のファイルへ**	前のファイルに戻ります。
3	**<再生>ボタン**	全てのファイルを撮影日時順に再生します。 再生中にボタンを押すと一時停止します。
4	**次のファイルへ**	次のファイルに進みます。
5	**音量調整**	音量を調整します。
6	**<再生終了>ボタン**	再生を終了します。

※ボタンなどは一定時間経つと、表示が消えます。マウスを動かすことで再度表示されます。

6.　バックアップ　撮影した動画や写真をパソコンに保存しよう

6-1.　バックアップ

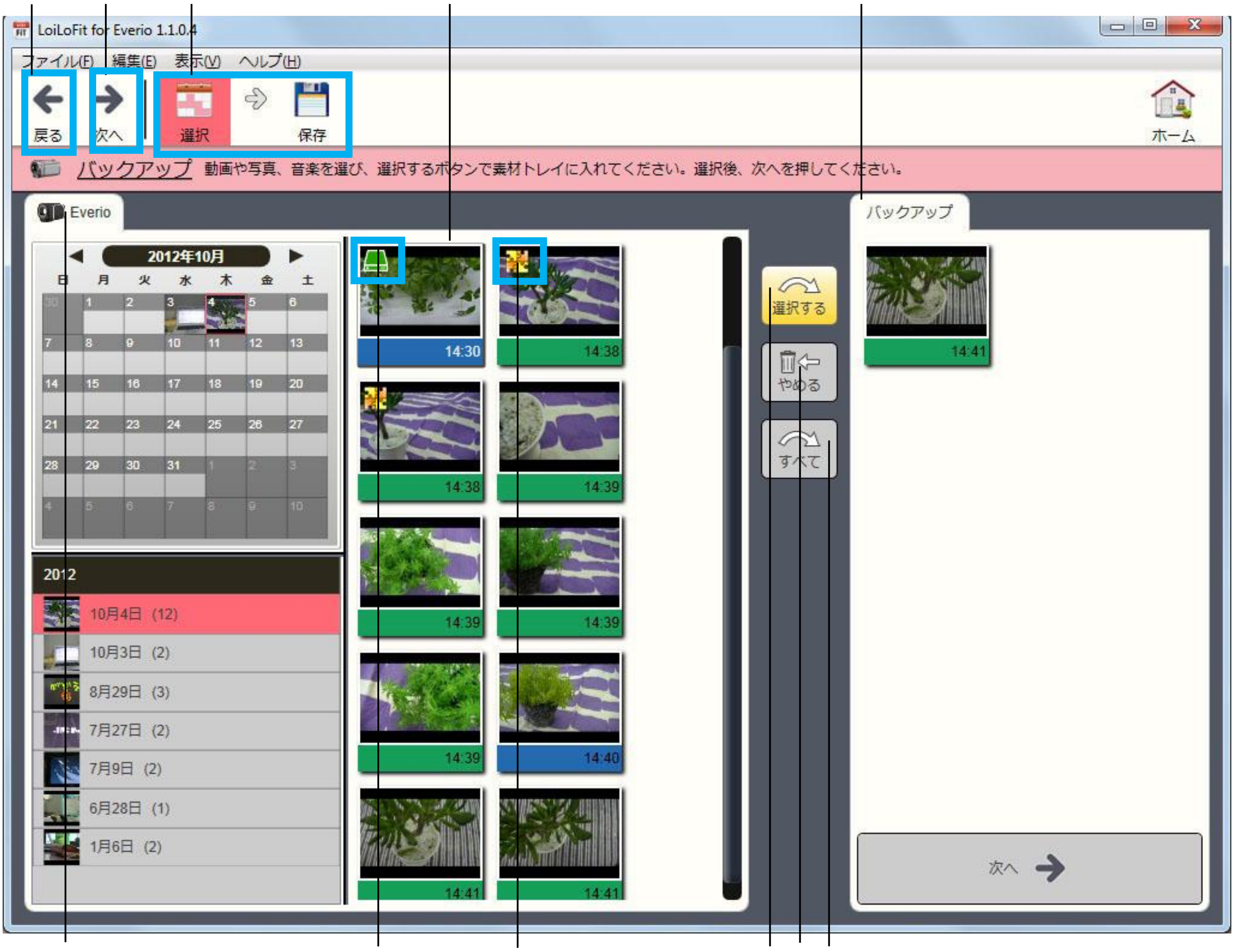
>>>「4-1. 操作手順」の「カメラの「パソコンと接続」メニューから LoiLoFit for Everio を起動した場合」をご参照ください。

■ 選択

まずホームの<バックアップ>ボタンをクリックします。次に、バックアップ元の記録メディアをタブで選択します。サムネイルを選択し<選択する>ボタンまたは、ドラッグ＆ドロップにて、バックアップトレイにサムネイルを追加します。選択が完了したら、<保存>または、<次へ>ボタンを押すとバックアップを開始します。

※長時間撮影で自動分割された動画のバックアップ先は、NTFS でフォーマットされた HDD に設定してください。
FAT32 でフォーマットされた HDD はご利用いただけません。
(バックアップフォルダの設定の変更方法は、『15-2.　オプション設定』の『出力先指定』を、ご参照ください)
※ダイレクトバックアップした外付けの HDD では<すべて>ボタンは使用できません。

1　2　3　4　5



6　7　8　9　10　11

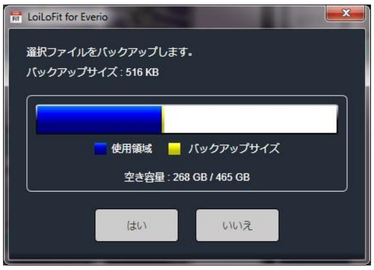
1	**戻るボタン**	1 つ前のステップに戻ります。
2	**次へボタン**	1 つ次のステップへ進みます。
3	**ステップアイコン**	ステップを直接選択できます。
4	**サムネイル**	サムネイルをクリックすると、ピンクの枠が表示され、選択状態になります。
5	**バックアップトレイ**	パソコンにバックアップするファイルを表示します。
6	**記録メディア選択タブ**	バックアップ元の記録メディアを選択します。
7	**バックアップ済み アイコン** 	バックアップ済みのファイルには、このアイコンが表示されます。
8	**長時間撮影で自動分割された動画アイコン** 	長時間撮影で自動分割された動画に表示されるアイコンです。 カメラの仕様上 1 つの動画に、4GB 以上のファイルを作成することができず、 長時間撮影された動画は、自動的に分割されてカメラで保存されています。 **※1. 長時間撮影された動画は、カメラの中にある状態では、本アプリケーションで編集や変換、ディスク作成、アップロードができません。** **2. 自動分割された動画は、本アプリケーションで 1 つの動画として結合させ、バックアップを行います。バックアップで結合された長時間撮影の動画は、編集や変換、ディスク作成、アップロード等ができます。**
9	**選択する**	選択したサムネイルをバックアップトレイに追加し、バックアップの対象にします。
10	**やめる**	バックアップトレイにあるサムネイルをバックアップの対象から外す場合は、サムネイルを選択して<やめる>ボタンを押します。
11	**すべて**	記録メディア内にある、まだバックアップされていないファイルのサムネイルだけを、バックアップトレイに追加します。

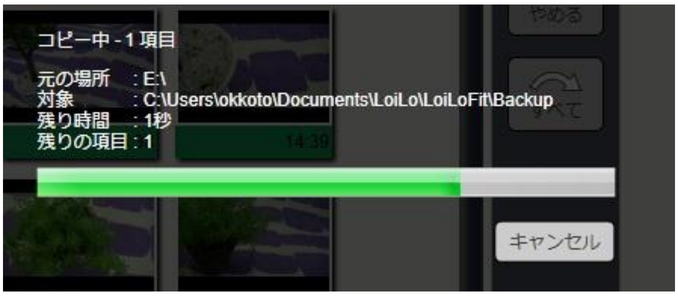
長時間撮影で自動分割された動画がカメラにある時

機能	**長時間撮影で自動分割された動画のできること**
プレビュー	通常どおり可能です。
全画面再生	
スライドショー再生	バックアップすることで可能になります。
ディスク作成	
ダイレクトディスク作成	
動画変換	
アップロード	

■ 保存

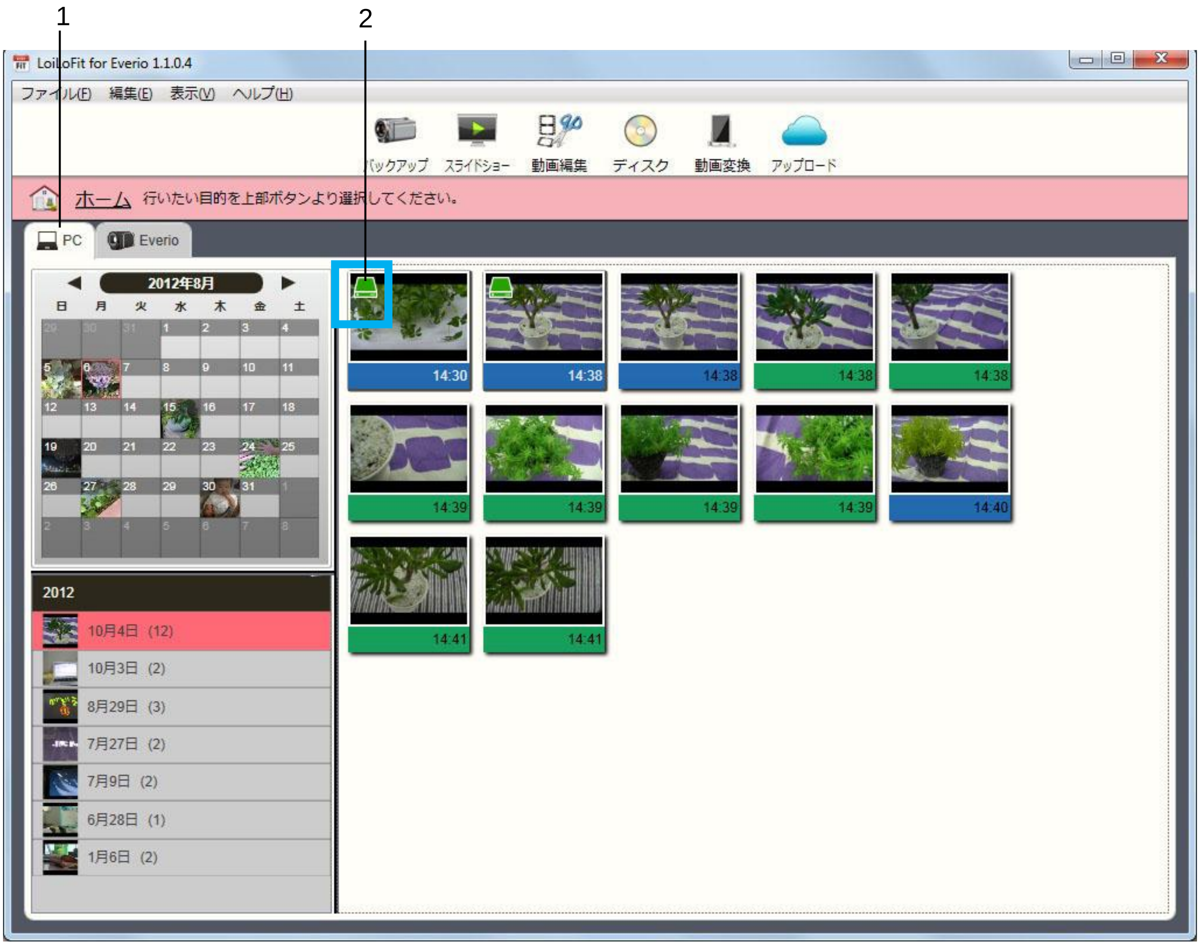
バックアップするファイルを追加したら
<保存>ボタンまたは<次へ>をクリックして、バックアップを実行します。





■ バックアップ確認

バックアップ完了後は、<Everio>タブにて保存されたファイルをご確認ください。
パソコンにバックアップされたファイルは、バックアップ済みマークが表示されます。



1	**バックアップファイルの表示**	バックアップした動画と写真は、ホーム画面の<PC>タブ内に表示されます。
2	**バックアップ済みアイコン**	<Everio>タブ内にて、バックアップ済みのファイルには、バックアップ済みマークが表示されます。

■ ファイルの削除

サムネイルをクリックすると、サムネイルにピンクの枠が表示され、選択状態になります。
サムネイルを選択中に、キーボードの Delete キーでファイルを削除することができます。
Delete キーを押した後、確認ダイアログが開き、確認後にファイルを削除します。
※削除できるのは Everio からバックアップしたファイルと､バックアップ先のフォルダに書き込まれたファイルです。

1	**削除確定チェックボックス**	チェックすることで、<削除>ボタンを押すことができるようになります。 削除されたファイルは元に戻すことはできませんので、お客様の責任で削除してください。

7. スライドショー: 保存した動画や写真を連続再生

ホームの<スライドショー>ボタンをクリックします。

1	**全画面で再生**	選択したファイルを全画面で連続再生します。
2	**Google Earth と一緒に見る**	位置情報が追加された動画と写真を Google Earth と一緒に見ることができます。 **「Google Earth と一緒に見る」の機能につきましては、** **「14. 地図と一緒に、動画や写真を見る」をご覧ください。**

7-1.　全画面で再生

■ 選択

>>>「4-2. 動画や写真、音楽を選択」をご参照ください。

素材を選択後、<再生>ボタンまたは<次へ>ボタンをクリックします。

■ 再生

スライドショーの設定を行った後に、<OK>ボタンをクリックすると全画面再生を開始します。

スライドショーの設定

選択したファイルの再生設定画面が表示されます。
写真にはアニメーション効果を追加し、選択ファイルに音楽が含まれている場合、音楽も追加順に並び、動画、写真、音楽のスライドショーが作成されます。

写真 1 枚あたりの時間

3 秒／5 秒／10 秒／カスタム
※選択した写真を何秒再生するか設定します。

スタイル

画像の切りかえ効果を変更します。

カット切り替え: 切りかえ効果なし
ランダム: さまざまな効果を自動で選択
オーバーラップ: 画像が切り替わる時、画像が重なる効果

並び順

再生する順番を選ぶことができます。
撮影日時／選択順

8. 動画編集: 好きな動画や写真を音楽と組み合わせて動画を作ろう

8-1. 動画編集

ホーム画面で動画編集を選びます

※1. **長時間撮影された動画は、カメラの中にある状態では、本アプリケーションで編集や変換、ディスク作成、アップロードができません。**

2. **自動分割された動画は、本アプリケーションで 1 つの動画として結合させ、バックアップを行います。バックアップで結合された長時間撮影の動画は、編集や変換、ディスク作成、アップロード等ができます。**

■ 選択

>>>「4-2. 動画や写真、音楽を選択」をご参照ください。

素材を選択後、<並べる>ボタンまたは<次へ>ボタンをクリックします。

■ 並べる

タイムラインで動画や写真、音楽をつなげて作品を作る

素材トレイから動画や写真、音楽をタイムラインへドラッグ&ドロップして、並べることで動画を作ります。
<トレイ内の素材を自動編集>を選び、タイムラインへ自動で並べることもできます。
自動編集については、自動編集の項目をご覧ください。
タイムラインでは、動画や写真、音楽ファイルの時間の長さがバーの長さで表示され、どれだけの再生時間があるかがすぐにわかります。

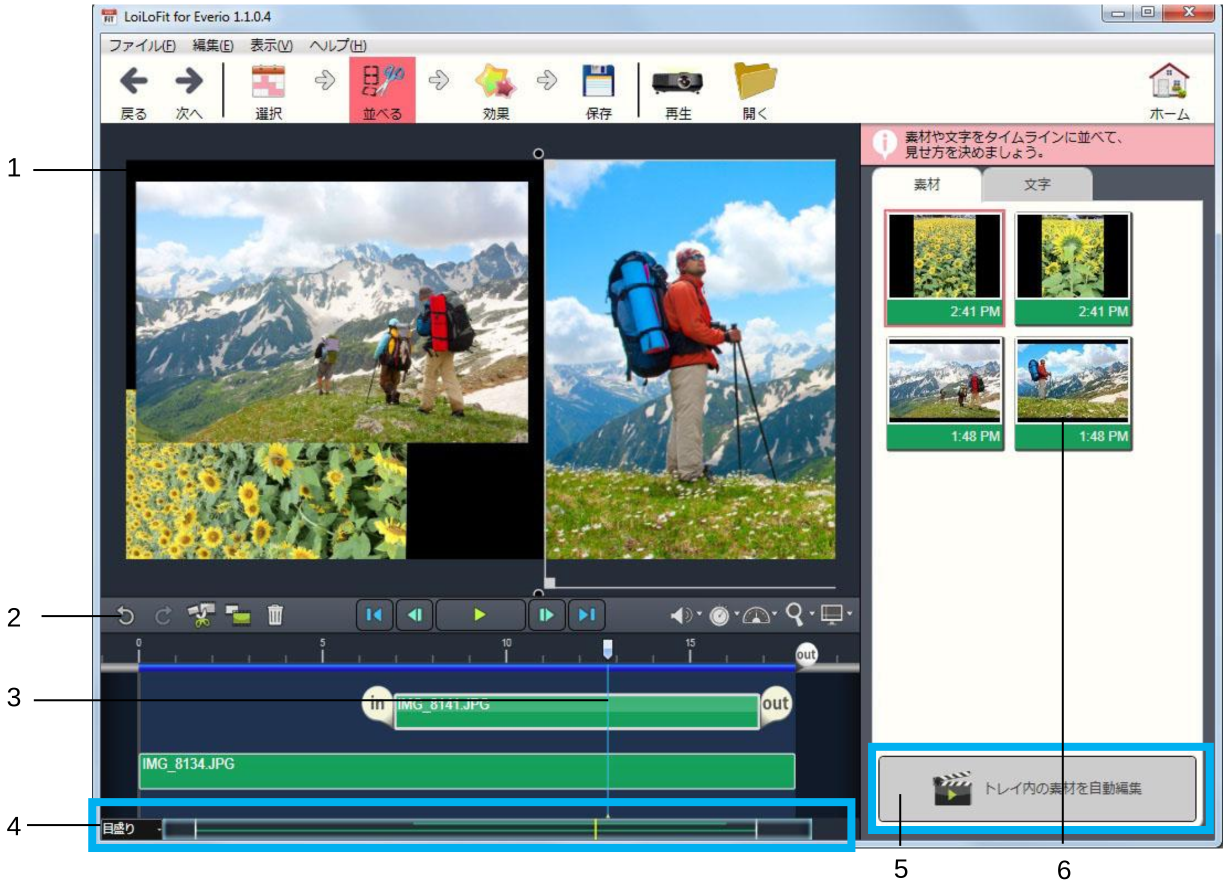
LoiLoFit for Everio は編集内容を制限しています。
これは編集内容が複雑になると、CPU の負担やメモリの消費が増えるため、快適にお使い頂けなくなる事があるためです。

同時に再生するように並べることのできる、素材や文字は以下の様になっています。

・動画または静止画　2 個まで
・音声　2 個まで
・文字　2 個まで
　※但し、「スタッフロール」は音声とだけ同時に使用できます。

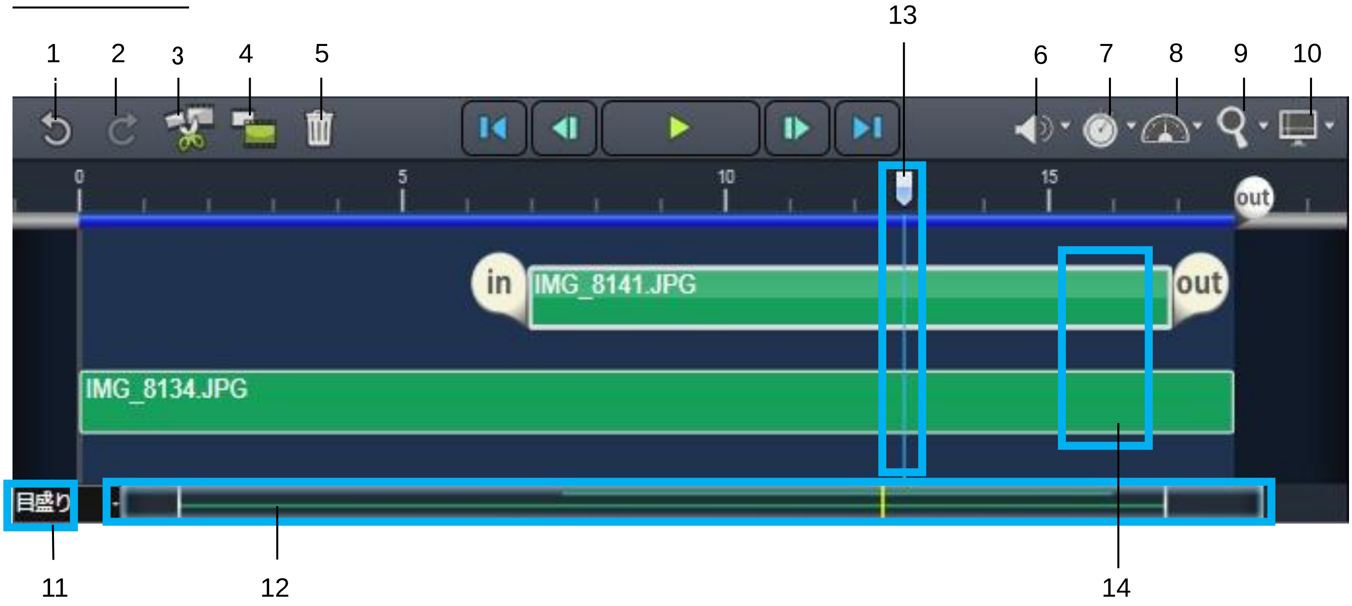
この制限は[ファイル」メニューの[オプション設定]プシその他]→[動画再生時に、同時再生数を制限する]の、チェックを外せば解除できます。編集の制限を解除した場合の動作については、非サポートとさせて頂きます。

各部の名称



1	**タイムライン再生画面**	動画が再生されます。表示サイズの拡大・縮小や画像の回転が行えます。
2	**タイムラインツールバー**	左から、元に戻す、やり直す、はさみツール、タイムラインバーをコピーする、タイムラインバーを消す、前へ移動、コマ戻し、再生／一時停止、コマ送り、次へ移動、音量、タイムラインの長さ、スピード(再生速度)、ズーム、動画の大きさ変更ボタン
3	**再生位置とタイムラインバー**	左から移動している垂直の線が、現在の再生位置を表しています。 緑や青、ピンクの帯がタイムラインバーです。 タイムラインバーは上下左右に移動できます。 左右で表示時間を、上下で動画の重なりを表します。重なりがあるときは、上にあるタイムラインバーの画像、文字を優先して表示します。 選択状態で左右に表示される<in/out>ハンドルを左右に移動して、カット編集することが可能です
4	**タイムラインスクロールバー**	タイムラインをナビゲートして、タイムラインをスクロールします。
5	**自動編集ボタン**	ボタンを押すと、自動編集の設定を表示します。全ての素材がタイムラインに入ります。
6	**素材ファイル**	選択ステップで選択された素材ファイルです。使用したいファイルをタイムラインへドラッグ＆ドロップします。

ボタンの役割



1	**元に戻す**	編集作業を 1 つ前の段階に戻します。
2	**やり直し**	<元に戻す>処理を取り消します。
3	**はさみツール**	選択しているタイムラインバーを分割します。
4	**タイムラインバーをコピーする**	選択しているタイムラインバーをコピーします。 一度に複数のタイムラインバーをコピーすることはできません。
5	**タイムラインバーを消す**	選択しているタイムラインバーを消します。
6	**音量**	音量を調整します。
7	**タイムラインの長さ**	タイムラインの長さを調整します。
8	**スピード**	プレビューのスピードを設定します。
9	**ズーム**	プレビューの拡大・縮小を設定します。
10	**動画の大きさ**	保存する動画のサイズを設定します。
11	**目盛り**	タイムラインを拡大・縮小します。
12	**タイムラインスクロールバー**	タイムラインをナビゲートして、タイムラインをスクロールします。
13	**シークバー**	プレビューの再生位置を表示します。
14	**画面の重なり順番変更**	タイムラインの上方向にあるタイムラインバーが、画面の重なり順序では前面に表示されます。

動画の大きさ設定

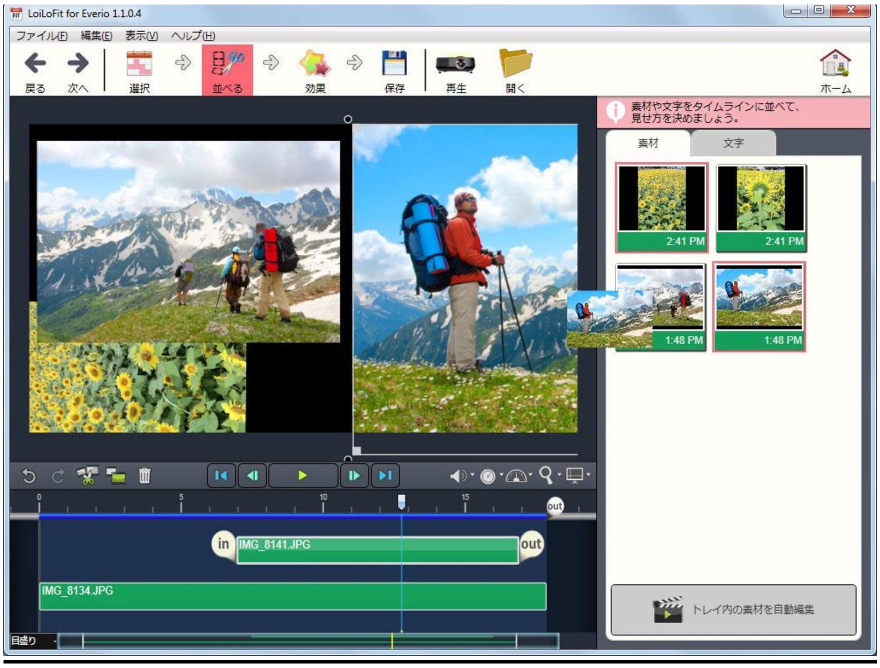
タイムラインツールバーのプルダウンメニューで保存する動画のサイズを設定できます。

SD NTSC	720x480	SD 画質、日本・アメリカ等
SD PAL	720x576	SD 画質、ヨーロッパ等
HD NTSC	1920x1080	HD 画質(1080/60i)、日本・アメリカ等
HD PAL	1920x1080	HD 画質(1080/50i)、ヨーロッパ等

自動編集機能

<トレイ内の素材を自動編集>ボタンをクリックすると、
自動ですべての素材をつなぎ合わせた動画を作成します。
クリックすると<自動編集の設定>画面(7-1. スライドショーを参照)
が表示されますので、設定内容を確認し、OK をクリックするとタイムラインバーに素材が追加されます。
タイムラインバーを追加した後は通常の編集も可能です。
まずは、自動編集を行い、その後、詳細編集を行うと時間短縮できます。

タイムライン編集方法



素材トレイからファイルをドラッグ＆ドロップすることで、タイムラインに動画や音楽などを入れることができます。

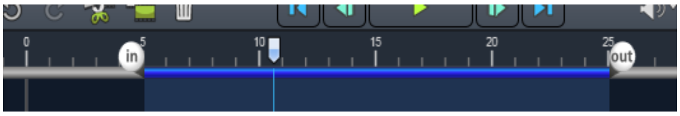
タイムラインの概念

タイムラインは、左から右へ時間が進んでいくグラフです。
時間の目盛りの横軸エリアをシークバーという縦軸が移動していき、シークバーの縦軸がある場所の画像を、上部再生画面に表示します。
時間の目盛りの横軸エリアをクリック、または、ドラッグすることで、再生時間を移動することができます。

タイムラインの再生範囲、出力範囲

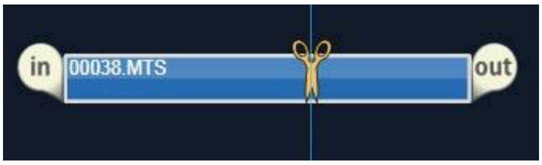
<out>ボタンをスライドして動画の終わり時間を指定します。0 から<out>ボタンの位置までを再生または、動画ファイル出力します。

タイムラインの長さにて、<制限なし>に設定すると、<in>ボタンが出現します。
<in>ボタンをスライドすることで、動画の始まりの時間を変更できます。<in>ボタンから<out>ボタンの位置までを、再生または、動画ファイル出力します。



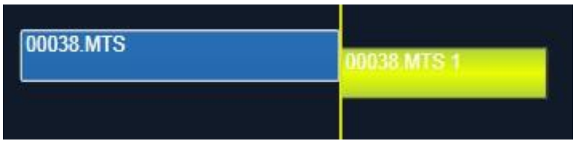
タイムラインバー編集

タイムラインバーをクリックすると、in/out ハンドルが現れ、これらを左右に移動させることで動画をトリミングできます。
また、はさみツールを使ってバーを分割して必要な箇所を摘出することで、動画や音楽の編集を行います。
(タイムラインバーを分割参照)
タイムラインバーをドラッグして自由に移動できます。
タイムラインバーを選択中に<Ctrl+ ←(矢印キー) >または<Ctrl+ →(矢印キー)>を押すことで、タイムラインバーの時間位置を 1 フレームずつ移動させることができます。



タイムラインバー同士をぴったりくっつける

タイムラインバーをドラッグして、他のバーの端とぴったり合う位置にくると、黄色に変化して知らせます。in/out の位置の変更時も同様に、他のサムネイルの端、再生範囲、時間 0:0:0 にくると黄色くなってスナップされたことを黄色の表示にて知らせます。



タイムラインバーの上下関係

タイムラインバーをふたつ重ねた場合、上にあるタイムラインバーが、優先的に再生画面で再生されます。

タイムラインバー

LoiLoFit for Everio は編集内容を制限しています。
これは編集内容が複雑になると、CPU の負担やメモリの消費が増えるため、快適にお使い頂けなくなる事があるためです。
同時に再生するように並べることのできる、素材や文字は以下の様になっています。

- 動画または静止画　２個まで
- 音声　２個まで
- 文字　２個まで

※但し、「スタッフロール」は音声とのみ同時に使用できます。
この制限は[ファイル」メニューの[オプション設定]→[その他]→[動画再生時に、同時再生数を制限する]の、チェックを外せば解除できます。編集の制限を解除した場合の動作については、非サポートとさせて頂きます。

タイムラインバー移動のやり直し

タイムラインバーの移動を元に戻したい場合は、キーボードの<Ctrl+Z>キーか、画面左下の<元に戻す>で戻すことができます。また、<Shift+Ctrl+Z>キーか、<やり直し>で、この操作をやり直すこともできます。

注意: タイムラインバーを削除すると、元に戻すことができなくなります。

タイムラインバーを分割

<はさみツール>をクリックすると、再生位置にはさみのアイコンが表示されます。<はさみツール>は、タイムラインバーを分割できるツールです。分割したいタイムラインバーを選択して、はさみのアイコンをクリックすると、タイムラインバーを分割することができます。

タイムラインバーをコピー

コピーしたいタイムラインバーを選択し、タイムラインツールバー上にある<タイムラインバーをコピーする>をクリックすると、そのすぐ後ろにコピーされます。

タイムラインバーを削除

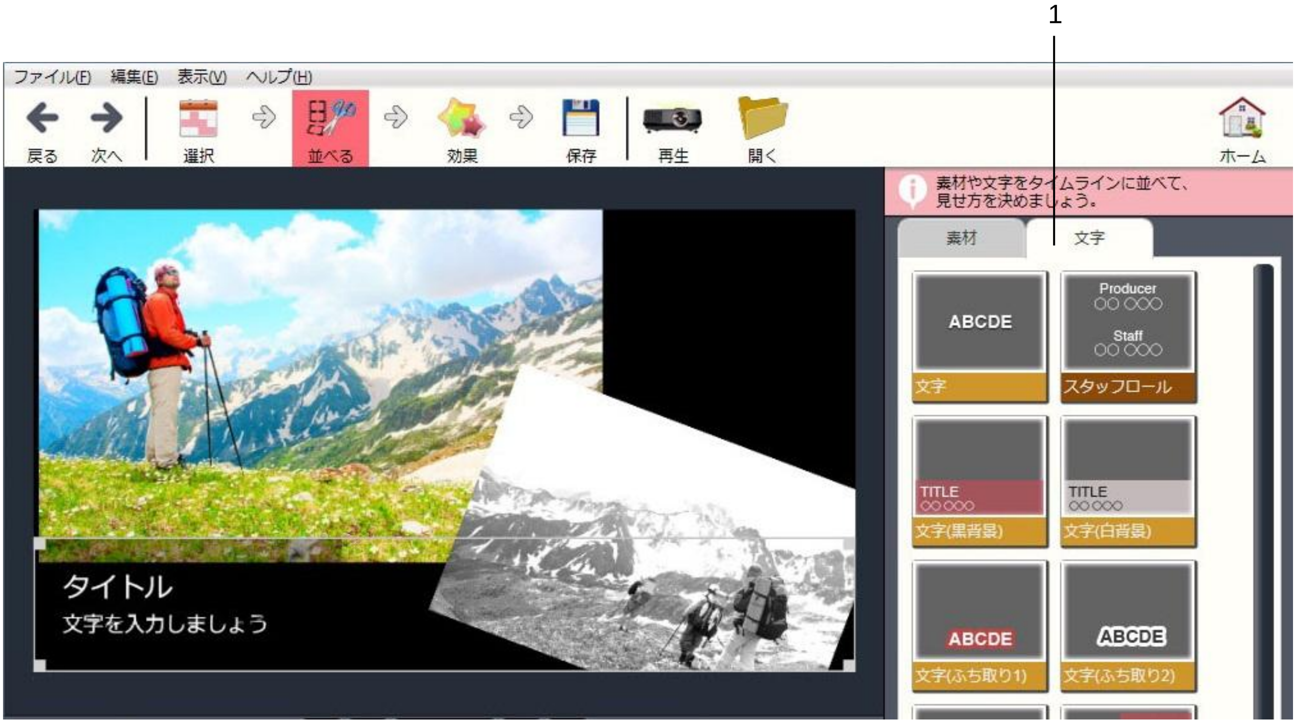
タイムラインバーを選択してゴミ箱のマークの
<タイムラインバーを消す>をクリックすると、
タイムライン上から削除されます。

複数選択

タイムライン内の何もない場所でマウスを左ドラッグして矩形選択にてバーを囲うことで複数選択することができます。
また、もう 1 つの方法として、キーボードの<Shift>キーを押しながら、複数選択したいタイムラインバーをクリックすることでも複数選択することができます。

文字を入力、配置

文字トレイからお好きなスタイルの文字をタイムラインへドラッグ＆ドロップすることで、
動画にテキストを追加することができます。



1	**文字トレイ**	クリックすると文字のスタイルが表示されます。 文字のスタイルをタイムラインへドラッグ＆ドロップすることで、 タイムラインに文字を追加することができます。

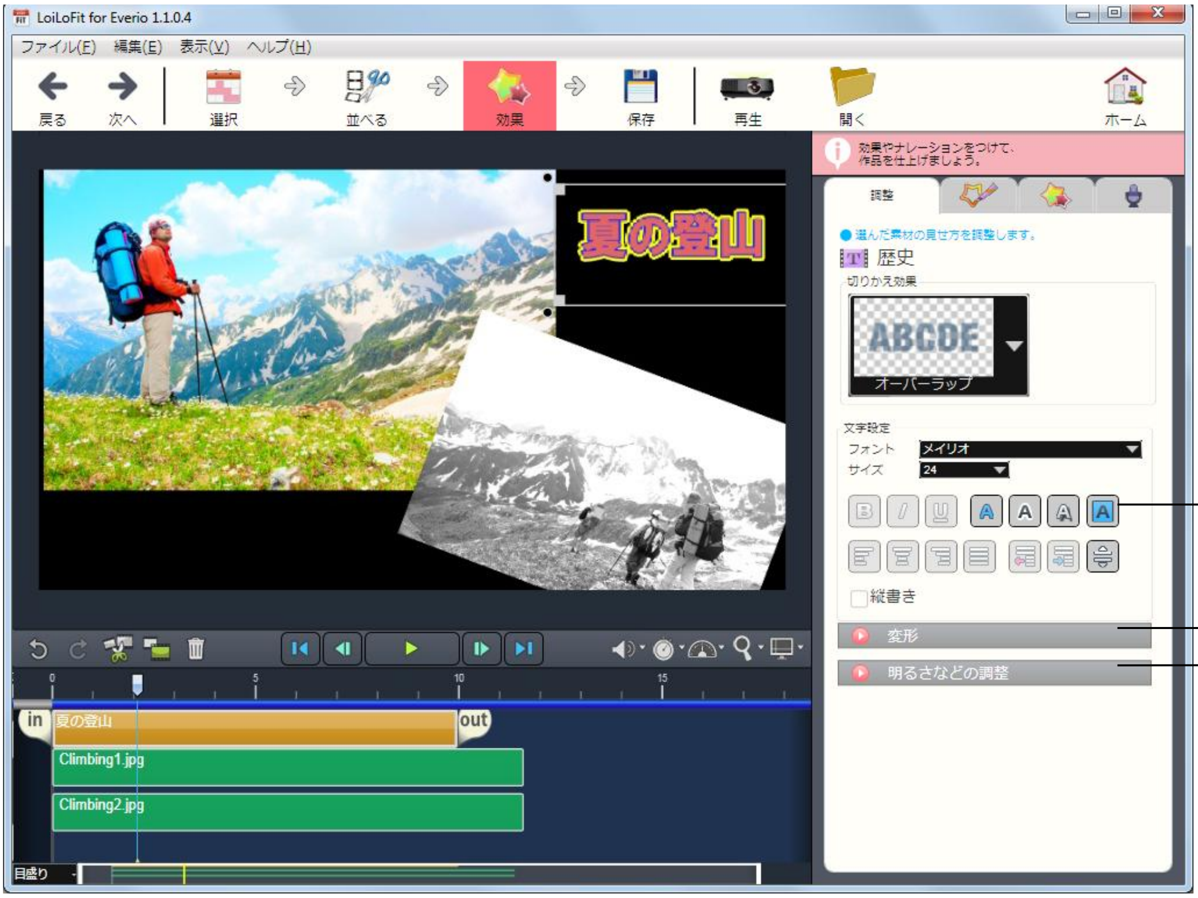
文字の編集方法

1. タイムライン上にあるテキストバーをクリックします。
2. プレビュー画面に文字枠表示されます。
3. 文字枠内をクリックします。
4. タイピングできる状態になります。
5. 改行するには、キーボードの<Enter>キーを押してください。
6. 文字枠の外をクリックすることで、文字編集終了です。
   文字のスタイル変更は、次項を参照ください。

■ 効果

文字を設定する

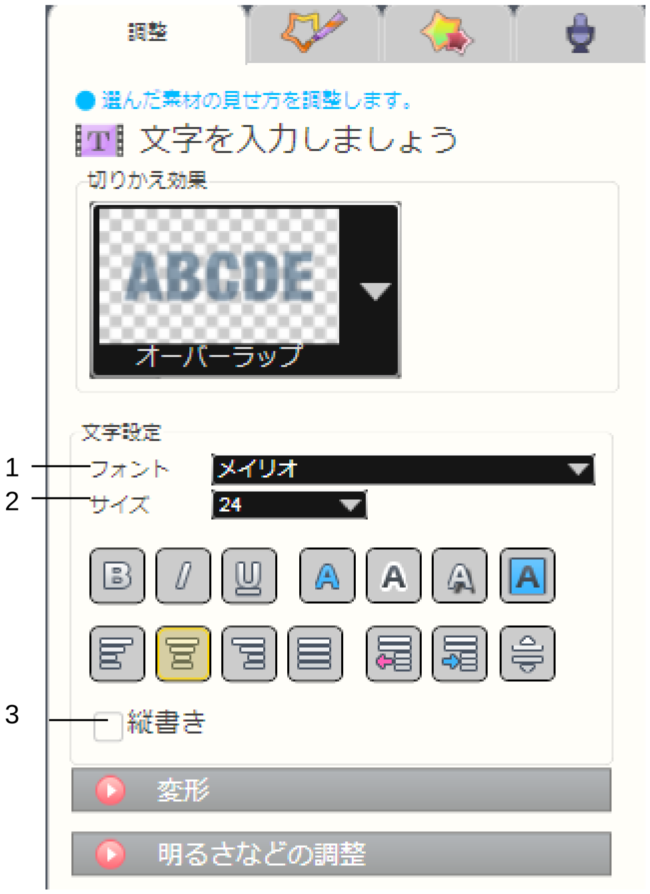
タイムライン上のオレンジ色のテキストタイムラインバーをクリックすると、プレビュー画面に文字枠を表示します。文字枠内をクリックすると文字の編集ができます。



1	**文字のスタイル詳細設定**	切りかえ効果や、サイズ、フォントの色、 シャドウ、縁取り、塗りつぶしなど詳細に設定できます。
2	**変形**	動画や写真の配置方法を変更できます。
3	**明るさなどの調整**	動画や写真の明るさの調整ができます。

文字スタイルを変更する

<調整>タブをクリックすると、文字のスタイルを設定できます。



1	**フォント**	選択している部分の文字フォントを変更できます。
2	**サイズ**	選択している部分の文字サイズを変更できます。
3	**縦書き**	チェックを入れると、テキストエリア内の文字が縦書きになります。
	太字	選択している部分の文字が太字になります。
	斜体	選択している部分の文字が斜体になります。
	下線	選択している部分の文字に下線を引きます。
	フォントの色	選択している部分の文字色を変更できます。
	縁取り	選択しているテキストエリア内の文字を縁取りします。

	影	選択しているテキストエリア内の文字に影をつけます。
	塗りつぶし	選択しているテキストエリア全体を指定した色で塗りつぶします。
	左揃え	選択しているテキストエリア内の文字を左揃えにします。
	中央揃え	選択しているテキストエリア内の文字を中央揃えにします。
	右揃え	選択しているテキストエリア内の文字を右揃えにします。
	両端揃え	選択しているテキストエリア内の文字を両端揃えにします。
	インデントを減らす	カーソルの位置の行のインデントを減らします。
	インデントを増やす	カーソルの位置の行のインデントを増やします。
	行間	行間を変更できます。

切りかえ効果を設定

画面の切り替わり効果の設定です。

文字かそれ以外(動画・写真)の場合で選べる切りかえ効果が変わります。

＜文字に関する切りかえ効果＞

手順 1	切りかえ効果をつけたい文字のタイムラインバーを選択します。
手順 2	切りかえ効果という文字の下の、下矢印をクリックします。
手順 3	各枠の上にマウスカーソルを合わせることで、切り替え効果をプレビューしてみることができます。 好きな効果をクリックすると適用されます。

＜動画・写真に関する切りかえ効果＞

手順 1

手順 2

手順 3

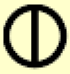
手順 1	切りかえ効果をつけたいタイムラインバーを選択します。
手順 2	切りかえ効果という文字の下の、下矢印をクリックします。
手順 3	各枠の上にマウスカーソルを合わせることで、切り替え効果をプレビューしてみることができます。 好きな効果をクリックすると適用されます。

自動切りかえ効果

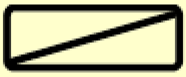
タイムライン内で、タイムラインバーが重なったり接したりすると、自動的に切りかえ効果が設定されます。

バー同士が重なりあった部分に自動的に切りかえ効果が設定されます。

自動切りかえ効果の法則

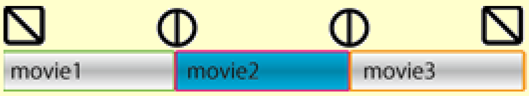


カットイン
(すぐに画面が切り替わる)

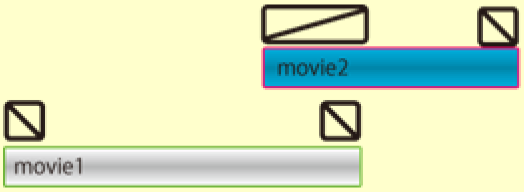


重なった部分の長さだけフェードイン、アウト
(だんだん入れ替わる)

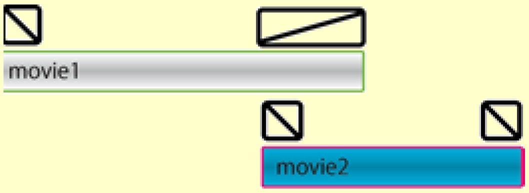
タイムライン上に接して並んでいる場合(重なりなし)
画面の入れ替わりはカットイン。



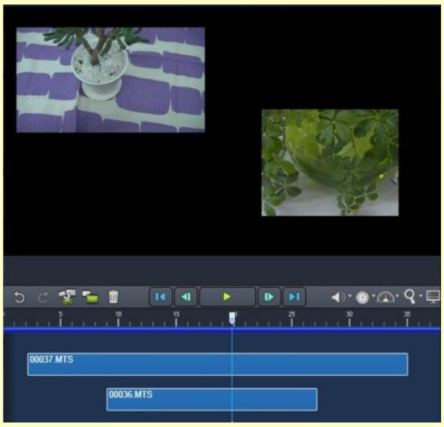
部分的に重なり合う場合 1
上にあるバーは下にあるバーの位置により、入れ替わり方が変化します。上にあるバーは重なりあっている分だけフェードインします。



部分的に重なり合う場合 2
上にあるバーは重なりあっている分だけ、フェードアウトします。

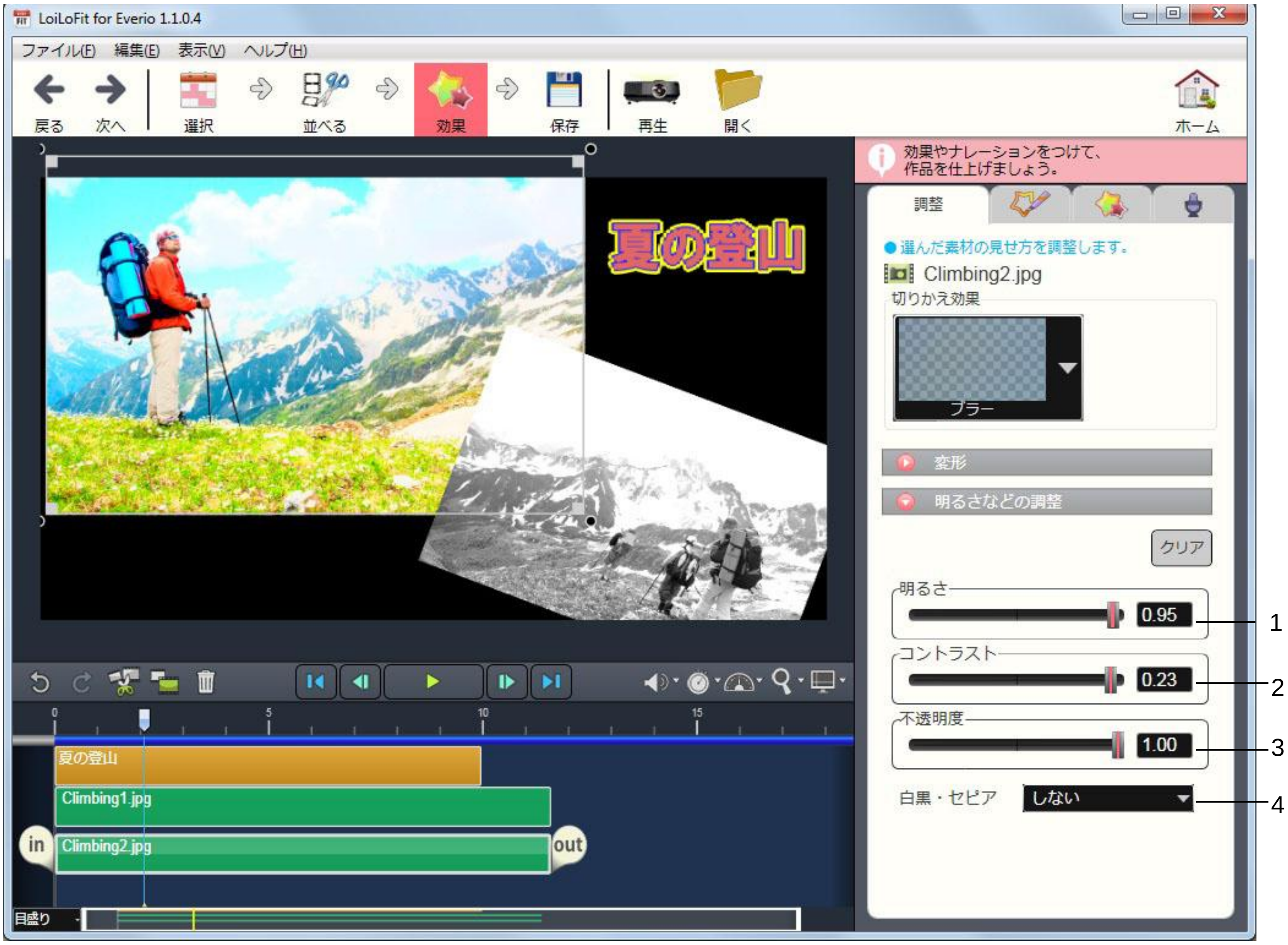


動画や写真の大きさ(16:9 と 4:3 混在の場合)や、画面内において位置が離れている場合、切りかえ効果の自動化がうまく動作しない場合があります。



明るさなどの調整

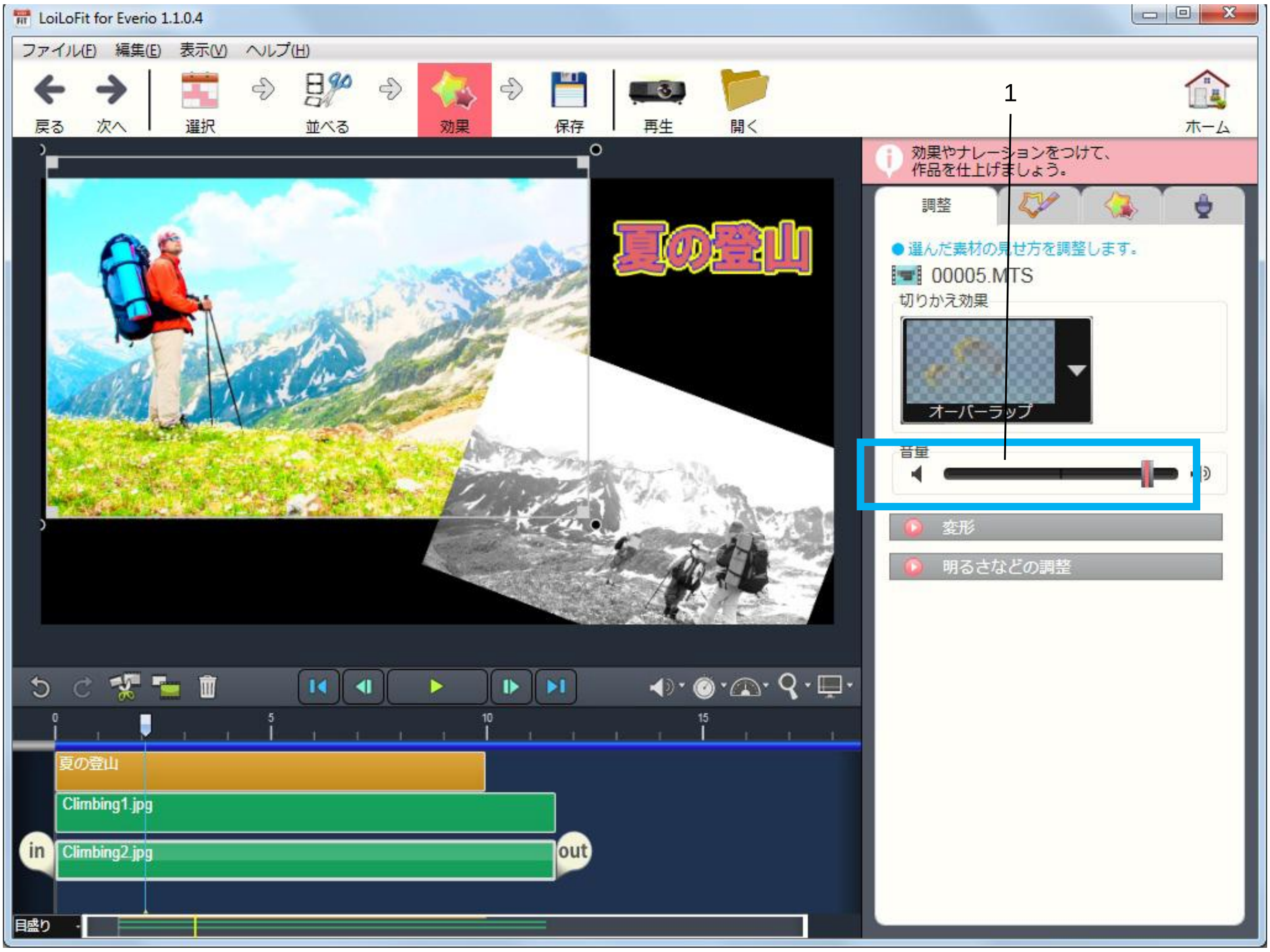
<調整>タブの<明るさなどの調整>をクリックし、素材の明るさ、コントラスト、不透明度を調整することができます。



1	明るさ	動画や写真の明るさを調整します。
2	コントラスト	動画や写真の最も暗い部分と、最も明るい部分の輝度の差を調整できます。
3	不透明度	動画や写真の透過を調整できます。
4	白黒・セピア	動画や写真を、白黒、またはセピア色に変更することができます。

音量調整

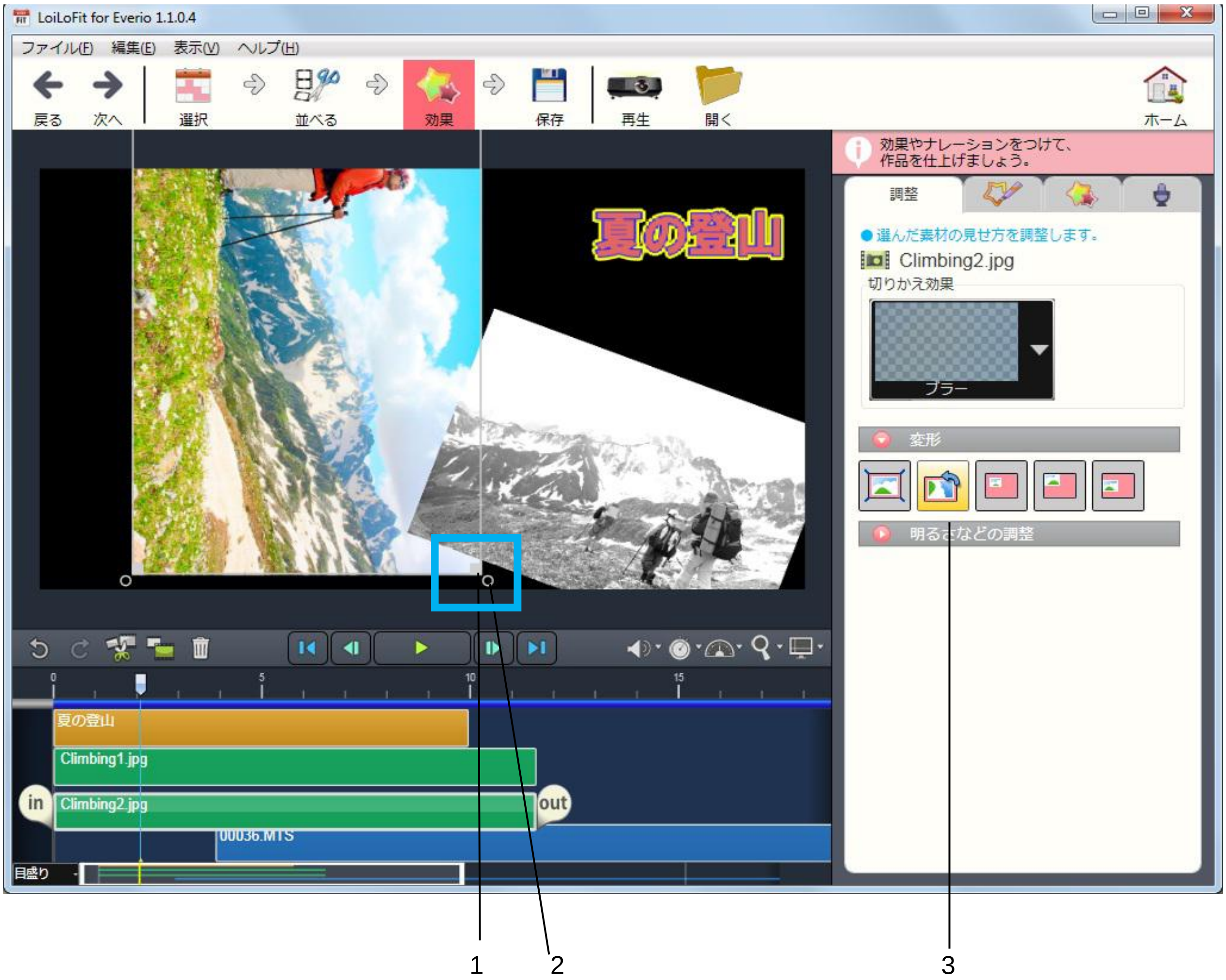
動画や音楽の音量を手動で調整することができます。
調整したい音声を含んでいるタイムラインバーを選択すると、右側の調整トレイの部分に
音量を調整するバーが表示されます。そのバーを使って音量を調整することができます。



1	音量調整	コントローラーを左右に移動することで音量を調整します。

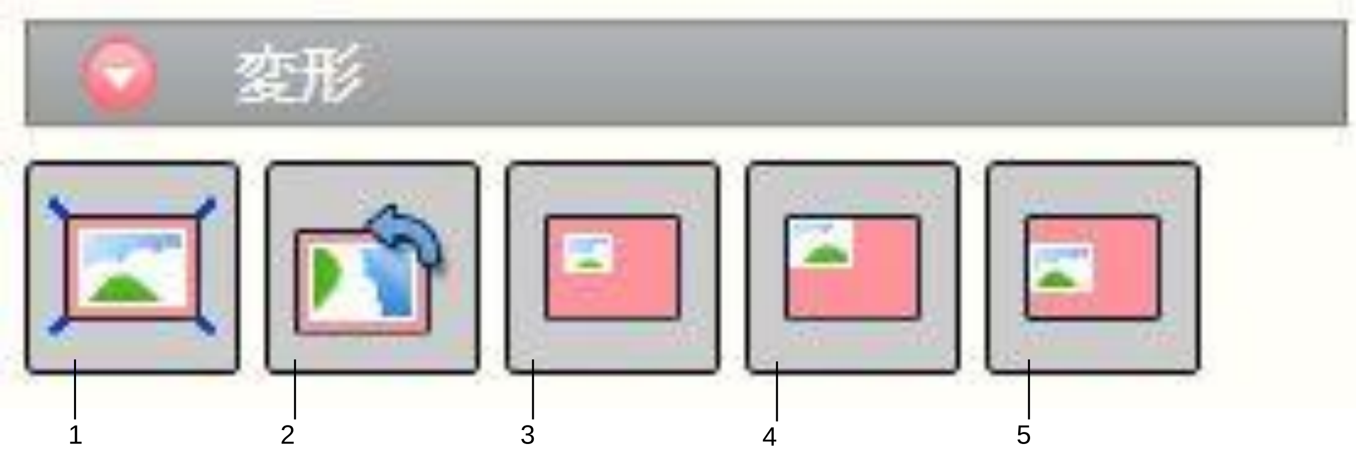
■ 動画、文字のレイアウト

レイアウトを変更したいタイムラインバーを選択し、再生ウインドウ内のコントローラを使って、
拡縮、回転、移動を画面内にて自由に配置できます。
また、変形ツールを使って、ピクチャーインピクチャーや、対象反転、90 度回転など様々な編集ができます。



1	**拡縮**	コントローラーをドラッグすると、選択されている画像や動画を拡大したり縮小したりすることができます。
2	**回転**	コントローラーをドラッグすると、選択されている画像や動画を回転することができます。
3	**変形**	選択している画像や動画の形を変形します。

変形



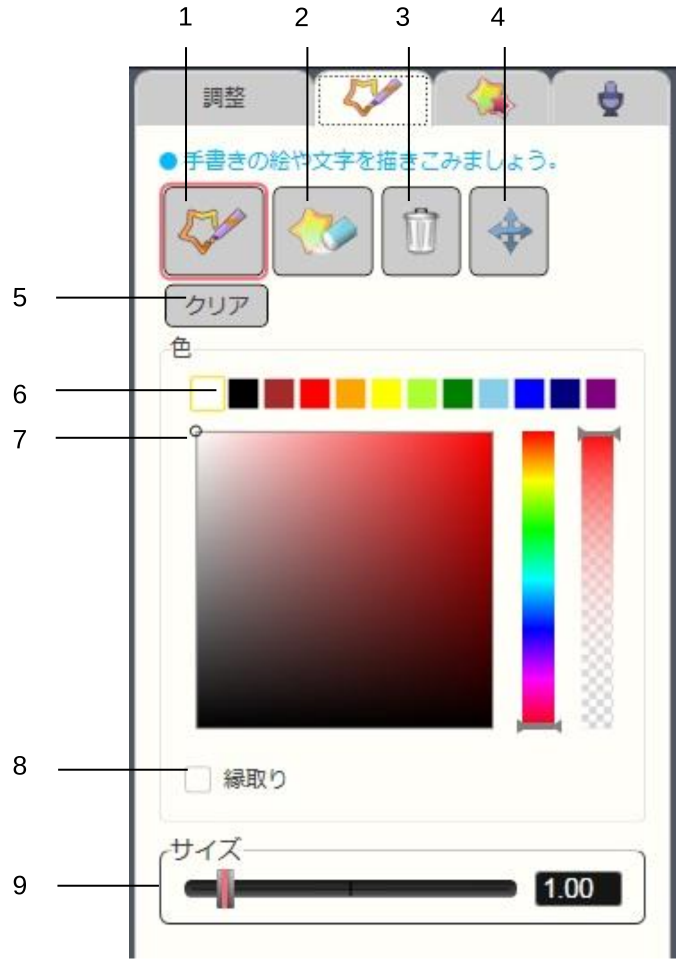
1	**初期状態に戻す**	選択されているタイムラインバーの変形をすべて元に戻します。
2	**左に回転する**	押すたびに左に 90°回転します。
3	**ピクチャ・イン・ピクチャ**	選択されている動画像を、画面上に縮小配置します。押すたびに左上、右上、右下、左下の順で移動します。
4	**ピクチャ・イン・ピクチャ 1/4**	選択されている動画像を、画面上に縮小配置します。サイズは元のサイズの 4 分の 1 になります。押すたびに左上、右上、右下、左下の順で移動します。
5	**ピクチャ・イン・ピクチャ 1/2**	選択されている動画像を、画面上に縮小配置します。サイズは元のサイズの 2 分の 1 になります。押すたびに左右の順で移動します。

■ 効果

動く手書きのペン効果

<ペン>をクリックすると、再生画面に<スタート>ボタンが表示されます。
ペンの色や太さ、透明度を設定してから<スタート>をクリックして下さい。
再生が始まり、タイムラインの再生画面に自由に描画することができます。

ペンツールボタン



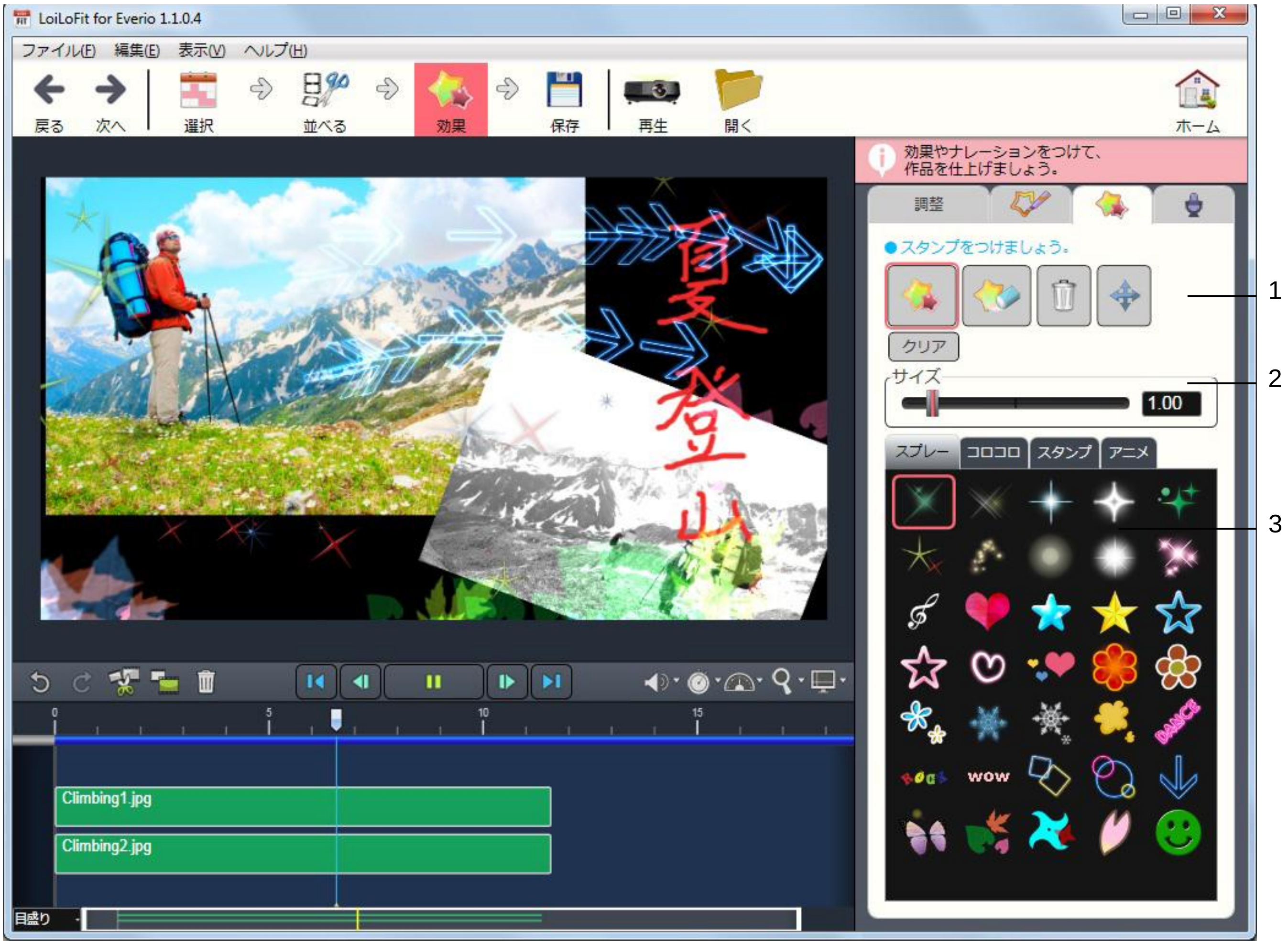
1	**ペン**	動画上に手書きの線や文字を描くことができます。
2	**消す**	ペンで描いた線が消える時間を設定します。
3	**削除**	ペンで描いた線を削除します。
4	**移動**	ペンで描いた線を移動します。
5	**クリア**	今まで描いた内容をすべて消去します
6	**基本色**	クリックした色で描くことができます。
7	**カラーパレット**	自分で指定した色で描くことができます。 四角内の使いたい色の部分をクリックすると、その色で書くことができます。 右のバーでも透明度を調整することができます。
8	**縁取り**	描く線に縁取りをします。
9	**サイズ**	線のサイズを設定できます。

動くグラフィックのスタンプ効果

<効果>ボタンをクリックして、<スタンプ>タブを選択します。

お好きなスタンプを選んで、画面の上をドラッグし、スタンプを適用してください。

スタンプの種類は、スプレー(拡散)、コロコロ(線状に分布)、スタンプ、アニメ(ぱらぱらアニメのように動くスタンプ)があります。

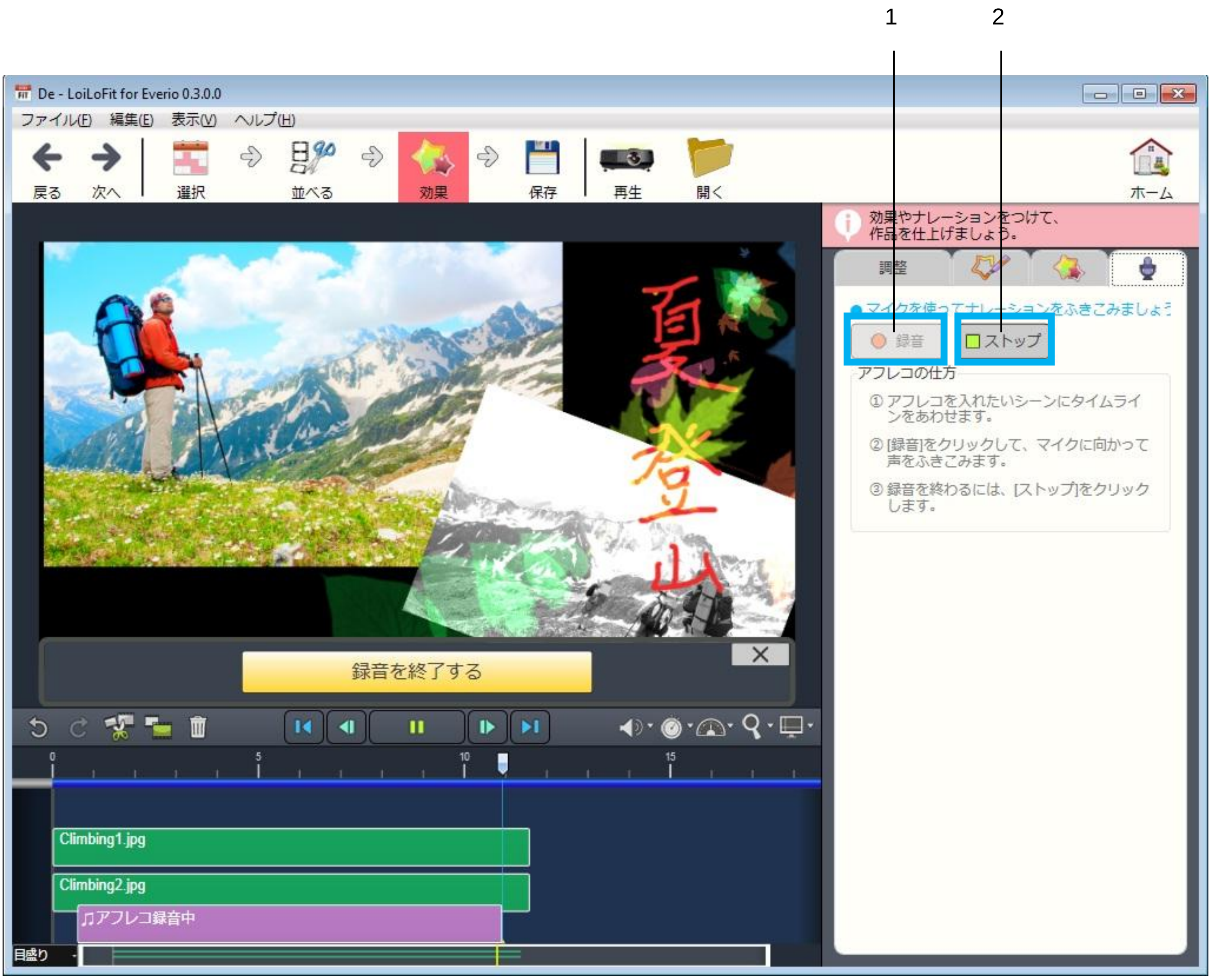


1	**スタンプツール**	左からスタンプ、消しゴム、描画したスタンプの削除、選択したスタンプの移動、すべてをクリアするツールです。 描画方法、削除方法はペンツールボタンを参照ください。
2	**サイズ**	スタンプの大きさを設定します。
3	**スタンプ変更**	スプレー、コロコロ、スタンプ、アニメの 4 種類があります。 スタンプの画像をクリックし続けることで、スタンプ画像を、左右反転、上下反転することができます。

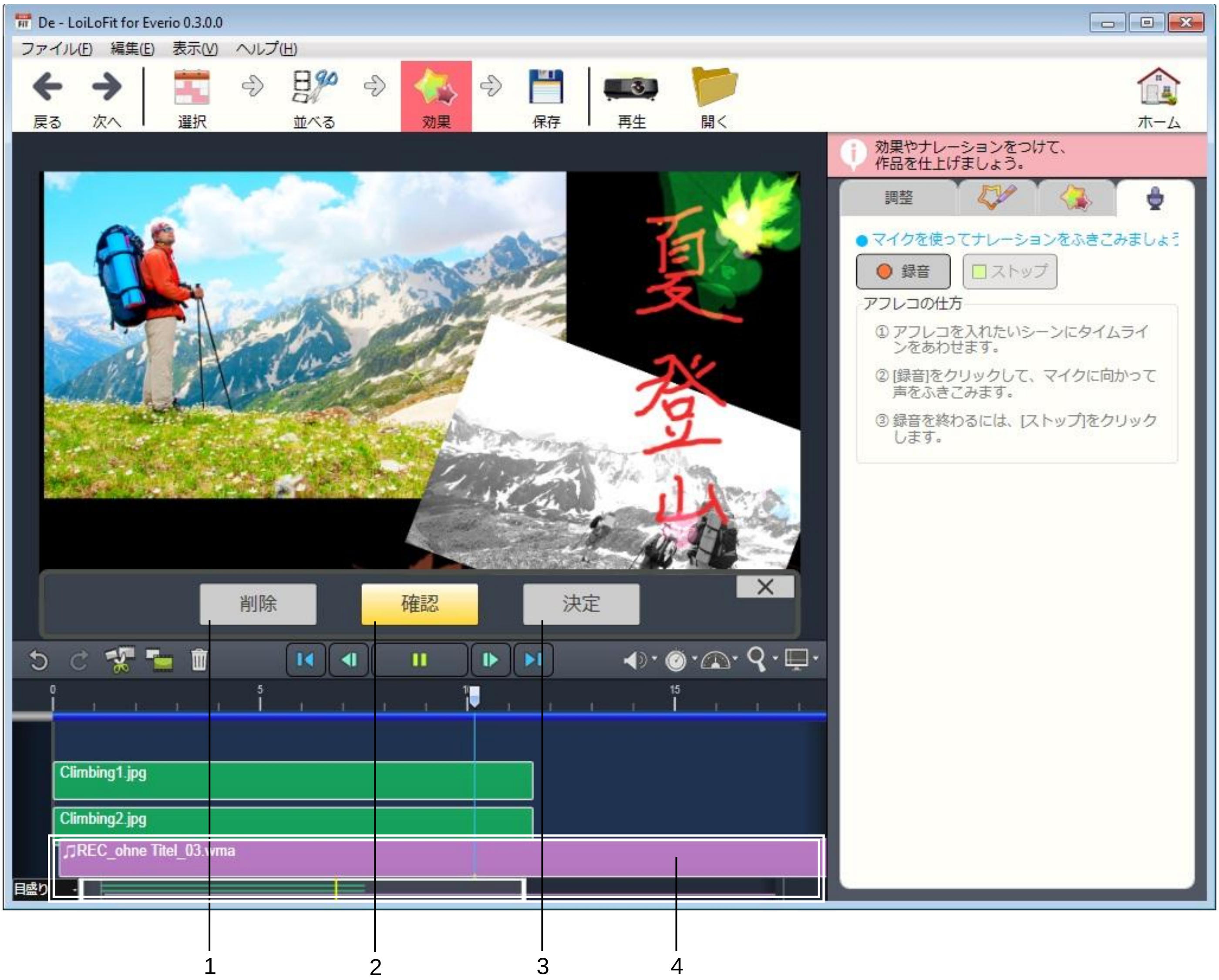
アフレコ

アフレコトレイでは、動画にナレーションを追加することができます。

<アフレコ>タブを開き<録音>をクリックすると、現在の再生位置から音声を記録していきます。



1	**録音ボタン**	クリックすると、現在の再生位置から録音を開始します。
2	**ストップボタン**	クリックすると録音を停止します。

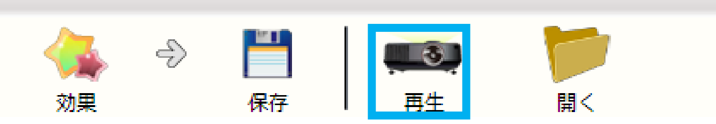


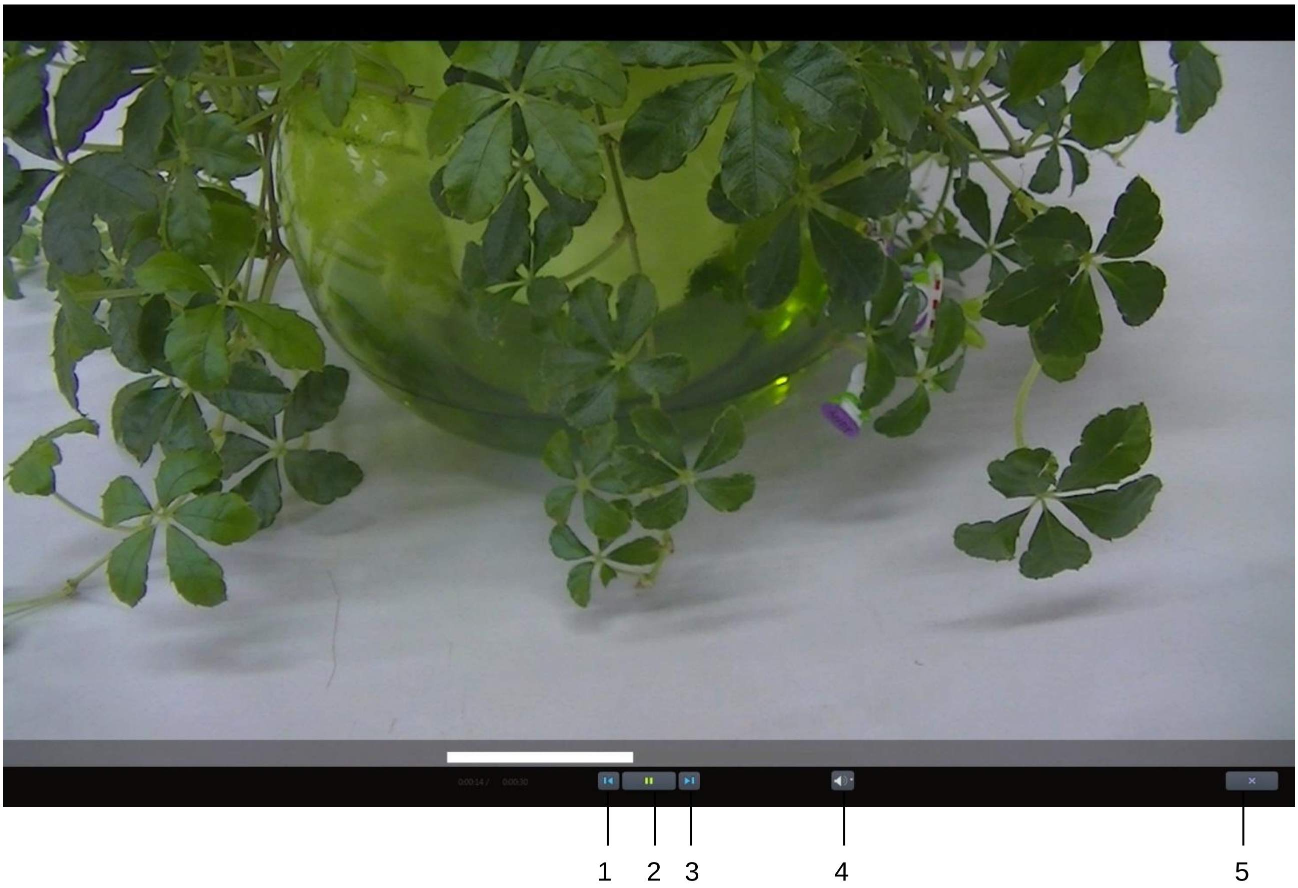
録音が終わったら、<確認>ボタンをクリックして、すぐに内容を確認できます。
録音をやり直す場合は<削除>、適用する場合は、<決定>をクリックします。
決定することで、音楽のバーがタイムライン上に生成されます。
通常の音楽のバーと同様に、はさみツールなどで編集できます。
録音した音声は、通常 Windows7,Vista では C:¥Users¥[ご利用のユーザー名]¥Videos、
XP では、C:¥Documents and Settings¥[ご利用のユーザー名]¥My Documents¥My Videos に保存され、
ファイルメニューのオプション設定、録音から保存先を変更できます。

1	**削除ボタン**	録音した音声を破棄します。
2	**確認ボタン**	録音した音声を確認します。
3	**決定ボタン**	録音した音声を適用します。
4	**アフレコタイムラインバー**	録音された音声はほかの動画や音楽のタイムラインバーと同じように、移動やカット編集ができます。

■ 再生

動画編集が終わったら、動画を再生してみましょう。モードバーの<再生>ボタンをクリックすると、全画面<再生>が始まります。





全画面プレイヤーボタン

1	**前のシーンへ戻る**	前のシーンへ戻ります。
2	**再生・一時停止**	再生・一時停止を切り替えます。
3	**次のシーンへ進む**	次のシーンへ進みます。
4	**音量**	再生音量を調整できます。
5	**閉じる**	全画面再生を終了します。

■ 保存

動画編集が終わったら、動画を保存します。モードバーの<保存>ボタンをクリックしてください。

動画ファイルの作成

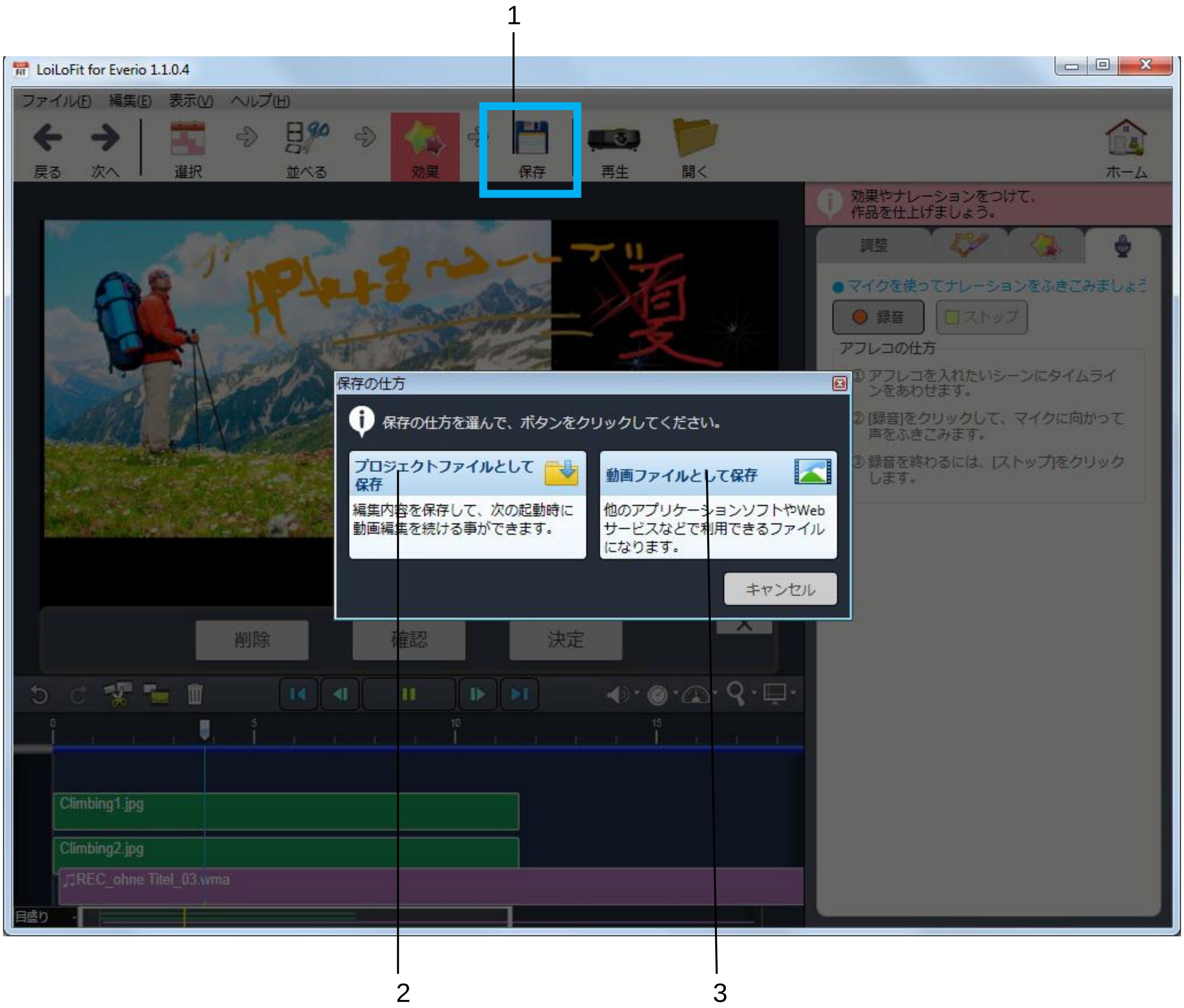
動画編集が終わったら、動画を保存します。
<動画ファイルとして保存>は、パソコンで再生可能な動画ファイルとして書き出しを行います。
※パソコンの仕様によって、正常に再生できない場合があります。

動画ファイルの保存先

動画ファイルとして保存する場合、「マイビデオ」または「マイピクチャ」のフォルダ内に出力すると、
カレンダーの日付トレイにサムネイルが表示されます。
その他の場所、例えばデスクトップなどに保存した場合は、表示されません。

編集途中のデータ保存、プロジェクトファイル作成

<プロジェクトファイルとして保存>は、編集内容を保存して再び LoiLoFit for Everio で
編集することができるファイルを作成します。
モードバーの<開く>ボタンより、プロジェクトファイルを開いて、前回までの続きを行うことができます。
※lfjts で保存したファイルは、ダブルクリックしてもファイルの読み込みはできません。



1	**保存ボタン**	保存ダイアログを開きます。
2	**プロジェクトファイルとして保存 .lfjproj**	編集内容を保存して再び LoiLoFit for Everio で編集することが可能です。 .lfjproj という拡張子の付いたファイルを作成します。
3	**動画ファイルとして保存 .wmv**	パソコンで再生可能な WMV(Windows Media Video)動画ファイルとして書き出しを行います。※パソコンの仕様によって、正常に再生できない場合があります。
	動画ファイルとして保存 .lfjts	LoiLoFit for Everio で出力した動画は、LoiLoFit for Everio でのみ扱える動画データになります。※OS や他のソフトでは再生や編集はできません。

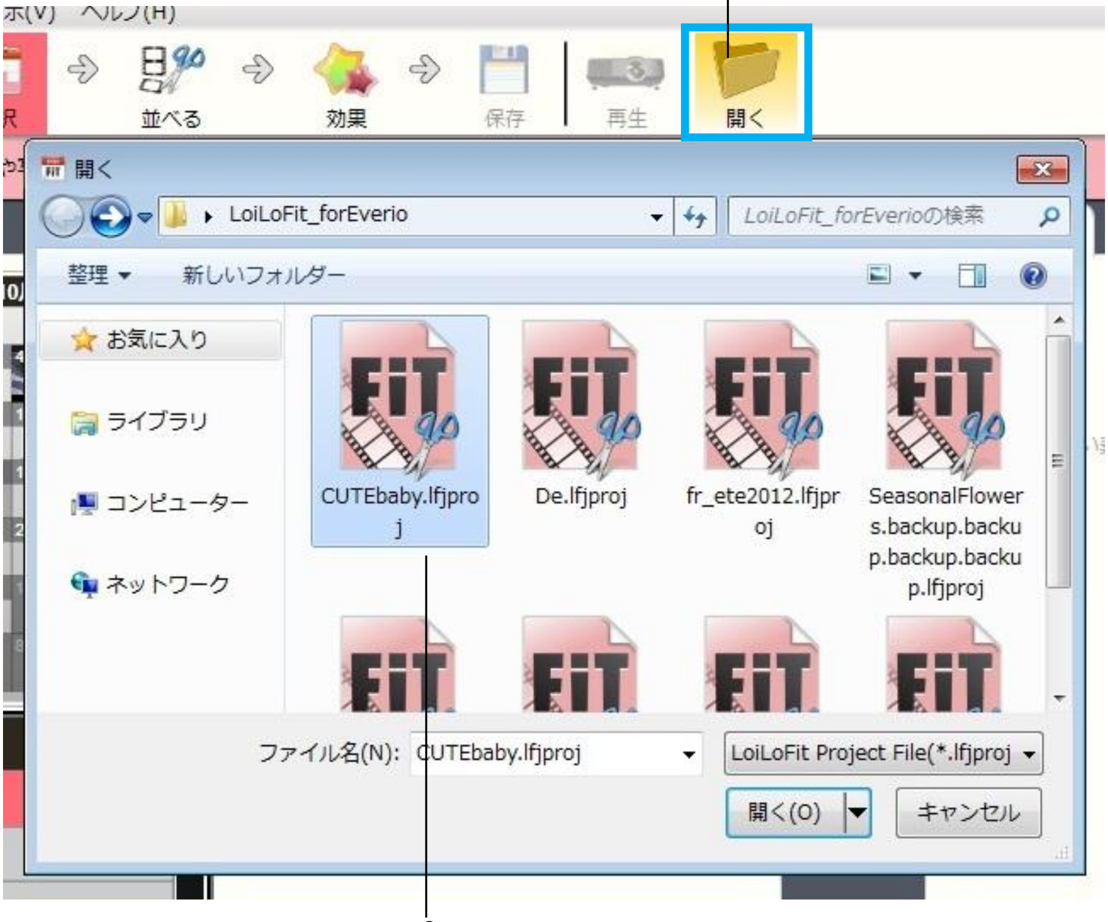
※動画ファイルは「マイビデオ」か、「マイピクチャ」か、「マイミュージック」のフォルダ以下に出力すると、LoiLoFit for Everio で表示する事ができます。

■ プロジェクトファイルを開く

ホーム画面から<動画編集>をクリックし動画編集画面で<開く>をクリックします。
ファイル選択画面が表示されるので、そこで保存したプロジェクトファイル(.lfjproj)を選択することで、前回保存した編集内容を編集することができます。

LoiLoFit for Everio が起動中の場合は、プロジェクトファイルをダブルクリックしてもプロジェクトを開く事ができません。

1



2

1	**開く**	ファイル選択画面を表示します。
2	**プロジェクトファイル**	編集したいプロジェクトファイルを選びます。

AVCHD ディスク作成機能は、アップデートでの対応となります。
ブルーレイディスクの作成は有料版のみの機能となります。

9. ディスク　ビデオディスクを作ってみよう

有料版について、詳しくは http://loilo.tv/jp/product/33/page/27　をご覧ください

初めてディスク作成モードをお使いになる時は、アクティベーションが必要です。表示されるご案内に従ってください。

※1. **長時間撮影された動画は、カメラの中にある状態では、本アプリケーションで編集や変換、ディスク作成、アップロードができません。**

2. **自動分割された動画は、本アプリケーションで 1 つの動画として結合させ、バックアップを行います。バックアップで結合された長時間撮影の動画は、編集や変換、ディスク作成、アップロード等ができます。**

AVCHD ディスク作成機能は、アップデートでの対応となります。

9-1.　AVCHD ディスク, DVD, ブルーレイディスク作成

>>>「4-1．操作手順」カメラの「パソコンと接続」メニューから LoiLoFit for Everio を起動した場合をご参照ください。

ホーム画面でディスクを選び、ディスクメニューから作成するディスクを選択します。

AVCHD ディスク	AVCHD ディスク再生に対応した機器で再生できるディスクを作成します。
ダイレクト AVCHD ディスク	Everio からダイレクトに AVCHD ディスクを作成できます。
AVCHD ディスクを再生する	LoiLoFit for Everio で作成した AVCHD ディスクを再生します。 ※他のソフトやハードで作成した AVCHD ディスクは再生できません。 この機能は簡易再生機能ですので、LoiLoFit for Everio で作成した AVCHD ディスク以外は再生できません。 またタイトルメニューの再生はできません。
DVD	パソコン、や DVD プレイヤーで再生可能な DVD を作成します。
ブルーレイディスク	ブルーレイディスク再生に対応した機器で再生できるディスクを作成します。
ダイレクトブルーレイディスク	Everio からダイレクトにブルーレイディスクを作成できます。

長時間撮影で自動分割された動画が含まれていると、この機能はお使い頂けません。
そのような時は、以下の手順でディスクを作成してください。

(1)バックアップを行なう(「6-1. バックアップ」をご参照ください)
(2)動画編集で不要なシーンをカットする(「8-1. 動画編集」の「■ 並べる」をご参照ください)
(3)編集結果を動画(.lfjts)で保存する。(「8-1. 動画編集」の「■ 保存」をご参照ください)
(4)通常のディスク作成で動画(.lfjts)を選択する。

※AVCHD ディスク(4.7GB　DVD)の場合、1 枚に記録できる動画は約 30 分までです。記録時間が長すぎる場合は動画編集で不要なシーンをカットしてください(「8-1. 動画編集」の「■ 並べる」をご参照ください)

※ブルーレイディスク作成で、プログレッシブモードで撮影された動画はインターレースに変換されます。

■ 選択

>>>「4-2. 動画や写真、音楽を選択」をご参照ください。

ディスクに収録したいファイルを選択後、<並べる>ボタンまたは<次へ>ボタンをクリックします。

■ 並べる

<素材>タブから、プレイリストにドラッグ＆ドロップします。表示の通りの順序でディスクに収録されます。
プレイリストの項目をドラッグ&ドロップすると並び替えることができます。
ディスクに収録するファイルを並び終えた後、書き込み用ディスクを挿入し、<ディスク作成>ボタンまたは<次へ>ボタンをクリックします。

1	**書き込みドライブ**	書き込み先のドライブを選択します。
2	**書き込み容量**	書き込む容量が表示されます。
3	**取り消し**	並べた動画を取り消すことができます。
4	**チェックボタン**	チェックを外すと書き込みの対象から外れます。

■ ディスク作成

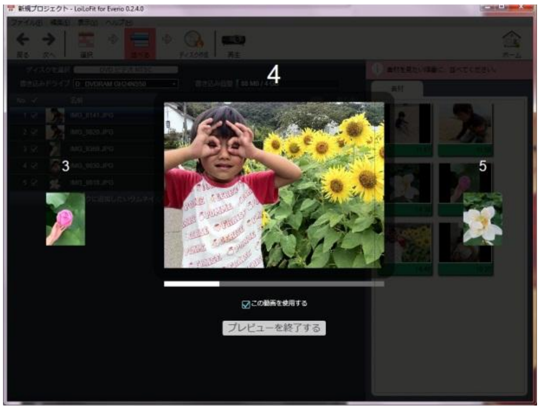
ディスクのタイトル画面デザインや、タイトル表示時の BGM などを設定できます。
ディスクのメニューデザインが決まった後、<ディスク作成>ボタンをクリックします。
(AVCHD ディスクの場合、メニューデザイン画面は表示されません)

1 2 3 4 5 6 7 8

1	**メニューデザイン**	作成するディスクのメニューデザインを変更できます。
2	**プレビュー**	メニュー、シーンをプレビューします。
3	**タイトル**	メニュー画面に表示されるタイトル文字を設定できます。
4	**タイトルサイズ**	タイトルの文字のサイズを設定できます。
5	**BGM**	メニュー画面中に流れる BGM を設定できます。
6	**背景変更**	背景画像を設定できます。
7	**ボリュームラベル**	ディスクの名前を設定できます。
8	**ディスクを作成**	ディスク作成を行います。作成には時間がかかります。

■ 再生

ディスクに収録するファイルを並び終えた後、再生ボタンをクリックするとディスクに含まれる動画を順に再生します。動画上部の番号は再生される順番を表します。ディスクを作成前にご確認されることをお勧めいたします。



ダイレクト AVCHD ディスク作成機能は、アップデートでの対応となります。

9-2.　ダイレクト AVCHD ディスク, ダイレクトブルーレイディスク

>>>「4-1. 操作手順」カメラの「パソコンと接続」メニューから LoiLoFit for Everio を起動した場合をご参照ください。

Everio または Everio で記録したメディアを接続した状態で、ホーム画面のディスクを選び、ディスクメニューからダイレクト AVCHD ディスクまたはダイレクトブルーレイディスクを選択します。
選択すると、自動で動画がリストに入ります。一度この機能でディスクを作成した動画は、次回の作成時には追加されません。
1 枚に入りきらない場合はダイレクトディスクの作成を繰り返してください。

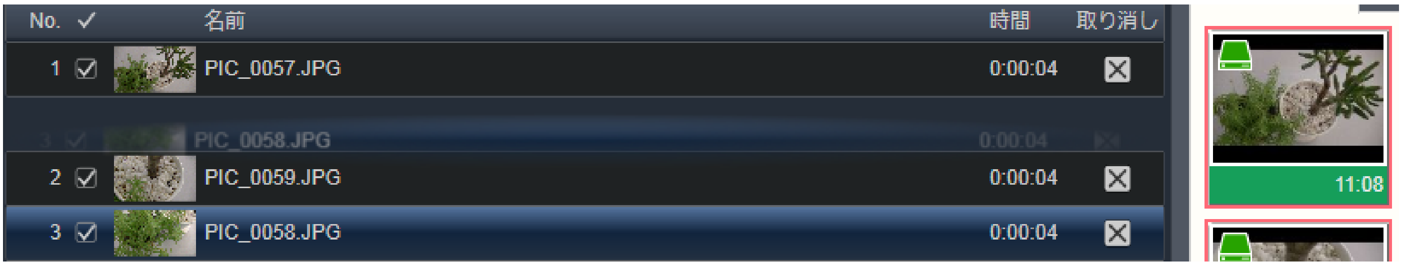
長時間撮影で自動分割された動画が含まれていると、この機能はお使い頂けません。
そのような時は、以下の手順でディスクを作成してください。

(1)バックアップを行なう(「6-1. バックアップ」をご参照ください)
(2)動画編集で不要なシーンをカットする(「8-1. 動画編集」の「■ 並べる」をご参照ください)
(3)編集結果を動画(.lfjts)で保存する。(「8-1. 動画編集」の「■ 保存」をご参照ください)
(4)通常のディスク作成で動画(.lfjts)を選択する。(「9-1. AVCHD ディスク, DVD, ブルーレイディスク作成」をご参照ください)

AVCHD ディスク(4.7GB　DVD)の場合、1 枚に記録できる動画は約 30 分までです。記録時間が長すぎる場合は動画編集で不要なシーンをカットしてください(「8-1. 動画編集」の「■ 並べる」をご参照ください)

■ 並べる

リストをドラッグ&ドロップすると並び替えることができます。
並び替えた後、<ディスク作成>ボタンまたは<次へ>ボタンをクリックします。



■ ディスク作成

>>>「9-1.**AVCHD ディスク, DVD, ブルーレイディスク作成**」をご参照ください。

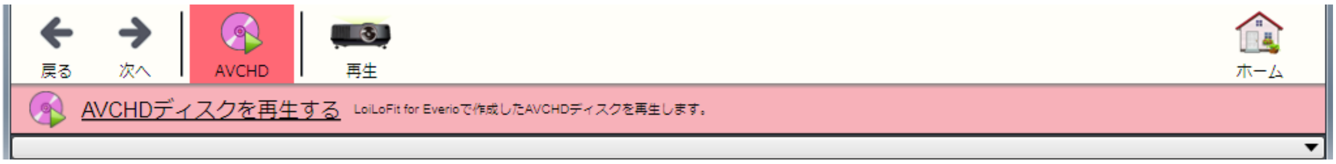
■ 再生

>>>「9-1.**AVCHD ディスク, DVD, ブルーレイディスク作成**」をご参照ください。

9-3.　AVCHD ディスクを再生する

■ 再生

ホーム画面で<ディスク>を選び、ディスクメニューから<AVCHD ディスクを再生する>を選択します。
パソコンのドライブに AVCHD ディスクをセットするとディスクの内容をリストで表示します。



<再生>をクリックすると、全画面で再生されます。
WindowsXP 標準では、UDF2.5 非サポートのため、AVCHD ディスクの再生はできません。
※お客様の環境によっては、UDF2.5 ドライバがインストールされている場合があります。
　ディスクの再生ができない場合は、市販のディスク再生ソフトをお使いいただくか、
　AVCHD 対応機器(ブルーレイレコーダー等)で再生してください。
※この機能は簡易再生機能ですので、LoiLoFit for Everio で作成した AVCHD ディスク以外は再生できません。
　またタイトルメニューの再生はできません。

10. 動画変換: 動画を変換して持ち歩こう

※1. **長時間撮影された動画は、カメラの中にある状態では、本アプリケーションで編集や変換、ディスク作成、アップロードができません。**

2. **自動分割された動画は、本アプリケーションで 1 つの動画として結合させ、バックアップを行います。バックアップで結合された長時間撮影の動画は、編集や変換、ディスク作成、アップロード等ができます。**

10-1. 動画ファイルへ変換

ホーム画面で動画変換を選び、動画変換メニューから WMV 形式を選択します。

iPhone, iPad 用の動画変換については「10-2.iPhone, iPad で見る」をご参照ください。

1	**<動画変換>ボタン**	動画変換メニューを表示します。
2	**動画変換メニュー**	書き出し形式を選択します。

■ 選択

>>>「4-2. 動画や写真、音楽を選択」をご参照ください。

動画変換するファイルを選択後、<保存>ボタンまたは<次へ>ボタンをクリックします。

■ 保存

変換したファイルを保存する場所を選択します。

iPhone, iPad 動画変換は有料版のみの機能となります。

10-2.　iPhone, iPad で見る

ホーム画面で動画変換を選び、動画変換メニューから iPhone または iPad のいずれかを選択します。
WMV 形式への動画変換については「10-1.動画変換」をご参照ください。

※有料版について、詳しくは http://loilo.tv/jp/product/33/page/27　をご覧ください。

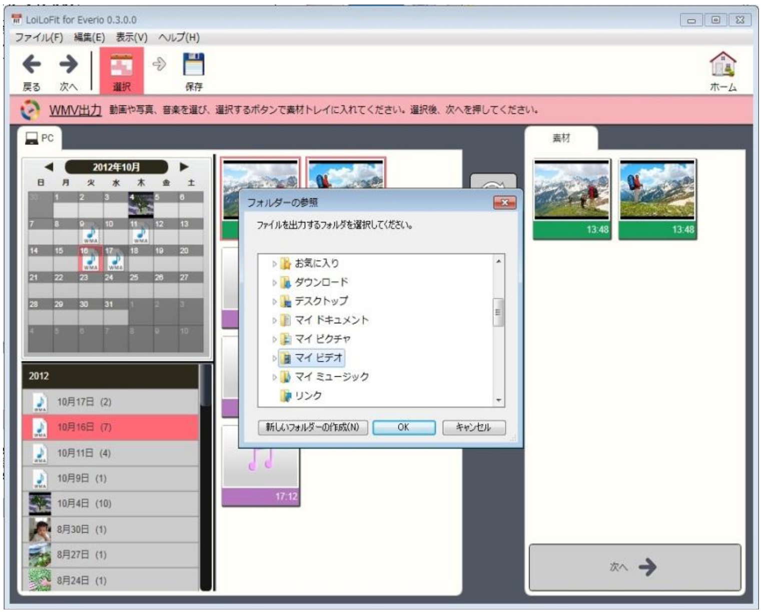
■ 選択

>>>「4-2. 動画や写真、音楽を選択」をご参照ください。

動画変換するファイルを選択後、<保存>ボタンまたは<次へ>ボタンをクリックします。

■ 保存

変換したファイルを保存する場所を選択します。
ファイルが書き出されたら、iTunes を使ってお手持ちのデバイスへデータを転送してください。



11. アップロード: 家族や友達と共有しよう

※1. **長時間撮影された動画は、カメラの中にある状態では、本アプリケーションで編集や変換、ディスク作成、アップロードができません。**

2. **自動分割された動画は、本アプリケーションで 1 つの動画として結合させ、バックアップを行います。バックアップで結合された長時間撮影の動画は、編集や変換、ディスク作成、アップロード等ができます。**

11-1.　YouTube アップロード

>>>「4-1. 操作手順」の「カメラの「パソコンと接続」メニューから LoiLoFit for Everio を起動した場合」をご参照ください。

ホーム画面でアップロードを選び、アップロードメニューで YouTube を選択します。
※YouTube のアカウントをお持ちでない方は、先に YouTube サイトにてユーザー登録を行ってください。

1	**アップロードボタン**	アップロードメニューを表示します。
2	**アップロードメニュー**	アップロード先が選択できます。 (事前に投稿するアカウントを取得しておいてください)

■ 選択

>>>「4-2. 動画や写真、音楽を選択」をご参照ください。

■ アップロード

アップロードするファイルを選択後、<YouTube>ボタンまたは<次へ>ボタンをクリックします。

アップロードするファイルを選択後、YouTube ボタンまたは次へボタンをクリックすると、YouTube へのログイン画面が表示されます。

1. YouTube の ID とパスワードを入力してください。

2. ログイン後、動画の内容の詳細を記載し、OK ボタンをクリックして、アップロードします。

3. YouTube から、アップロードしたものを確認します。
・YouTube にログインしてから、自分のユーザー名をクリックすると、右記のようなものが表示されます。黒い丸で囲ってある、「動画の管理」をクリックしてください。

4.「アップロード動画」の画面が表示されるので、ここから、アップロードした動画の確認ができます。

YouTube にログインできない場合

最近 YouTube にアカウント登録された方で、YouTubeID の設定をされていない方はログインできない場合があります。
YouTube にログインできない場合は、下記のページをご参照ください。
http://support.loilo.tv/loilofit_everio/jp/knowledges/login_youtube

12. ワイヤレスでパソコンにバックアップ

12-1.　お手軽保存

■ カメラを WiFi へ接続する

パソコンにバックアップする前に、カメラを WiFi に接続してください。
その際、パソコンとカメラを同じ LAN 内で接続してください。
詳細は、カメラ本体のマニュアルをご参照ください。

■ ワイヤレスでバックアップする

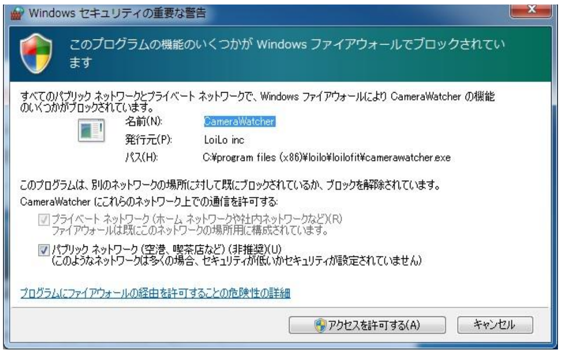
「お手軽保存」を使用すれば、カメラとパソコンをケーブルで接続せずに WiFi 経由でカメラのデータを
パソコンにバックアップすることが可能です。
※バックアップファイルの保存先は、LoiLoFit for Everio のバックアップフォルダの設定に従います。
※「お手軽保存」は、カメラとパソコンを USB で接続してバックアップするよりも転送時間が長くなります。
　環境条件によって、10 倍以上の時間がかかることがあります。
※「お手軽保存」の最中にパソコンがスリープすると、保存に失敗する場合があります。

1. LoiLoFit for Everio をパソコンにインストールしてください。

2. カメラ　メニューから「お手軽保存」を起動 してください。**詳細は、カメラ本体のマニュアルをご参照ください。**

   「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示される場合は、「アクセス許可する」をクリックして下さい。

   McAfee やノートンの設定は、「サードパーティー製セキュリティソフトでのファイアウォール設定方法」をご参照下さい。



3. バックアップを開始すると、常駐トレイよりバルーン表示で、開始の案内が表示されます。

4. バックアップ中に、常駐トレイ内アイコンにマウスを乗せる(ホーバー)することで、バックアップ完了までの残り予想時間を表示します。

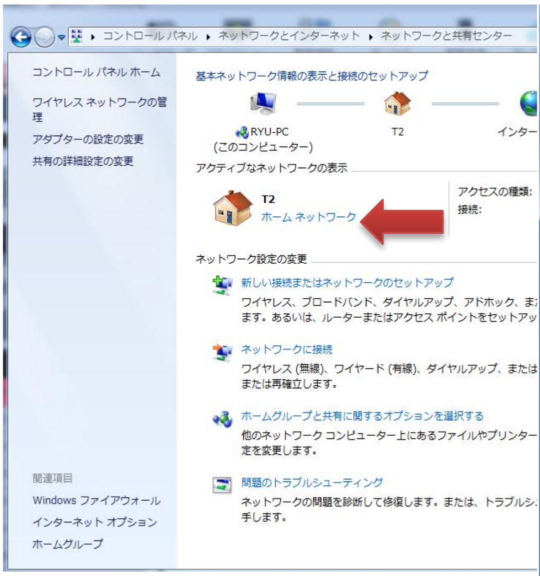
5. バックアップが終了すると、常駐トレイより、終了の案内が表示されます。

■ 「お手軽保存」ができない？ネットワークの場所の設定

お手軽保存が開始されない場合、まず確認していただきたいのが、接続されているネットワークの場所の設定です。

確認するには、コントロールパネル→ネットワークとインターネット→ネットワークと共有センターにて、アクティブなネットワークの表示を、ホームネットワークまたは、社内ネットワークに設定してください。

パブリックネットワークでは、お手軽保存が開始しません。
必ず、ホームネットワークか、社内ネットワークにて設定をお願いします。

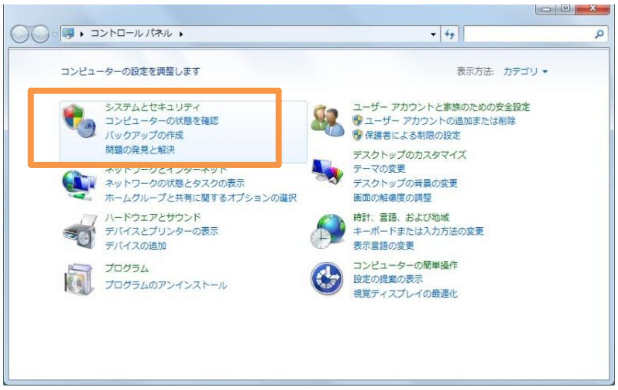


■ 「お手軽保存」ができない？Windows でのファイアウオール設定方法

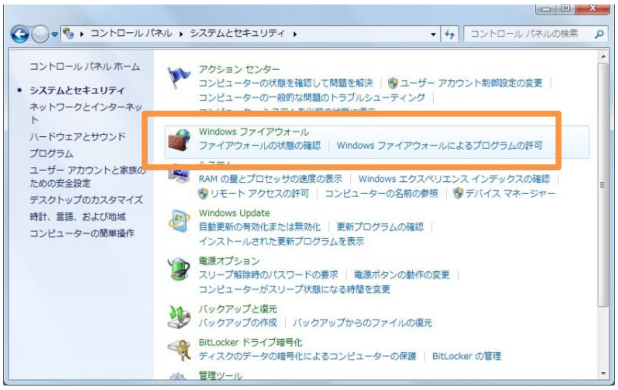
「Windows セキュリティの重要な警告」画面で「お手軽保存」を許可しなかった場合、この機能を使用することができません。Windows ファイアウォールの設定をすることで、「お手軽保存」を使用できるようになります。

<u>Windows7 の場合</u>

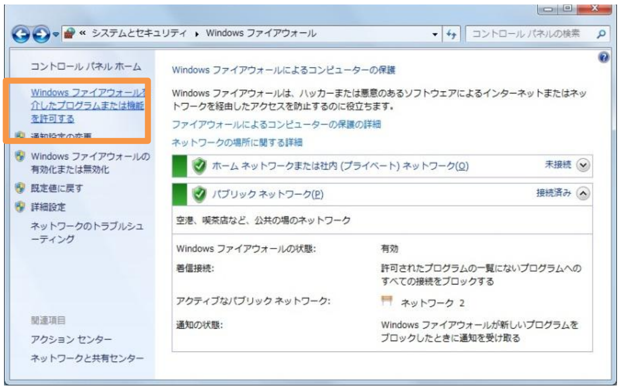
1. コントロールパネルを起動します。
   「システムとセキュリティ」をクリックします。



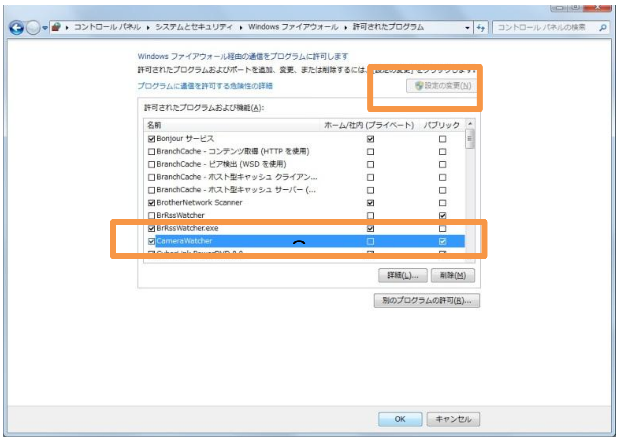
2. 「Windows ファイアウォール」をクリックします。



3. 左側のメニューから「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」をクリックします。

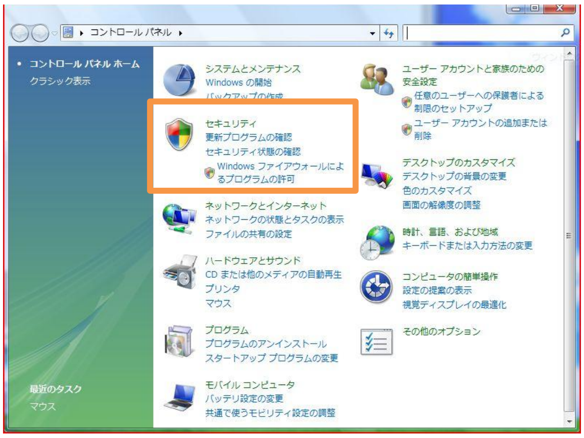


4. 表一覧表右上の「設定の変更」をクリックし、一覧表の中の「allow CameraWatcher」のチェックボックスをオンにして下さい。
   OK をクリックして設定終了です。

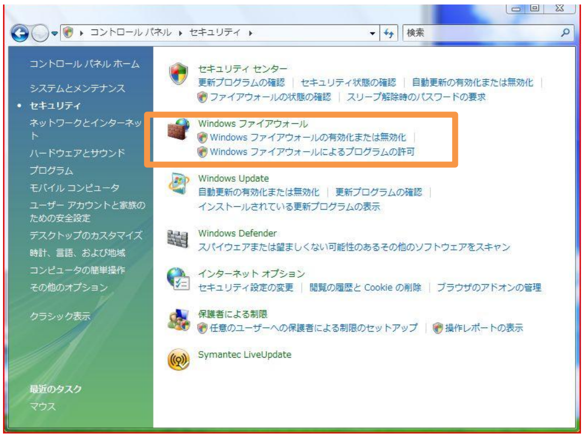


Windows Vista の場合

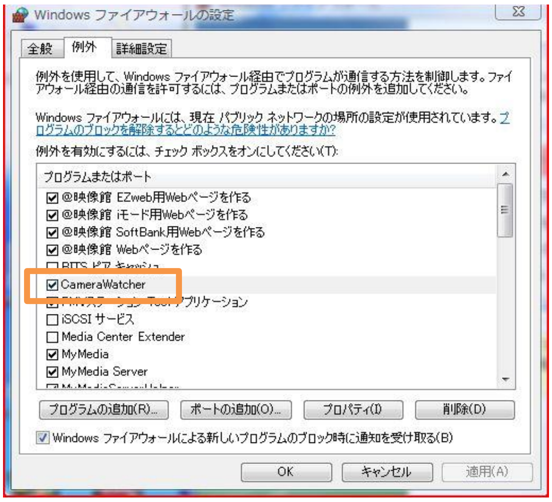
1. コントロールパネルを起動します。
   「セキュリティ」をクリックします。



2. 「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」をクリックします。



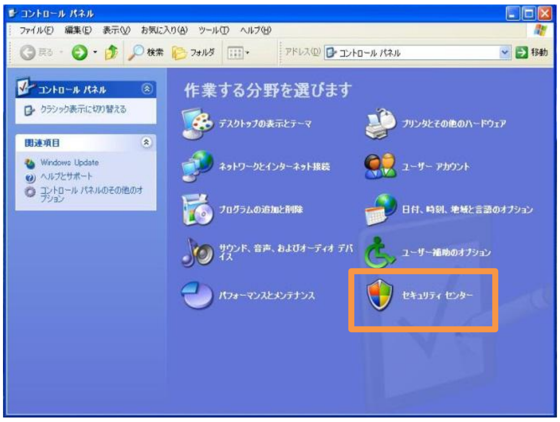
3. 例外タブを表示します。
   一覧表の中の「allow CameraWatcher」のチェックボックスをオンにして下さい。
   OK をクリックして設定終了です。



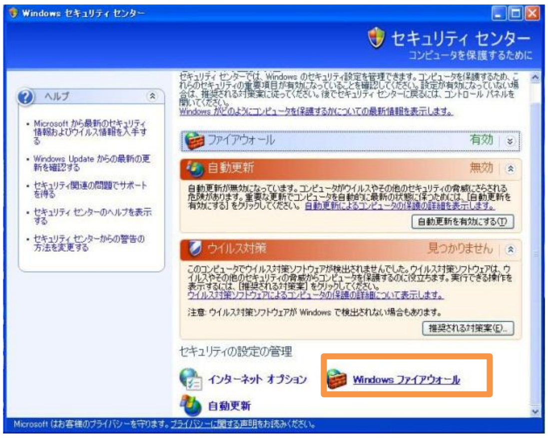
Windows XP の場合

1. コントロールパネルを起動します。

   「セキュリティセンター」をクリックします。



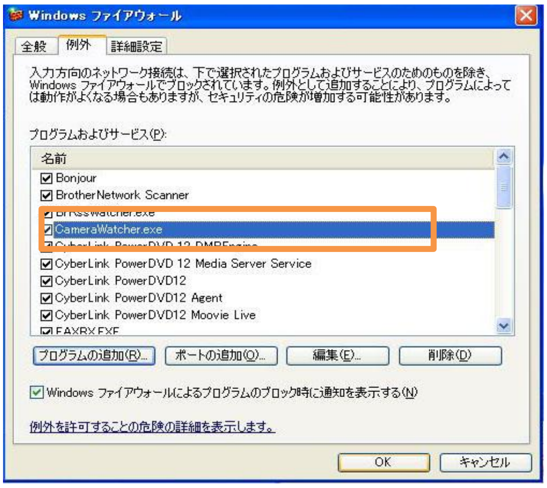
2. 「Windows ファイアウォール」をクリックします。



3. 例外タブを表示します。

   一覧表の中の「allow CameraWatcher」のチェックボックスをオンにして下さい。

   OK をクリックして設定終了です。

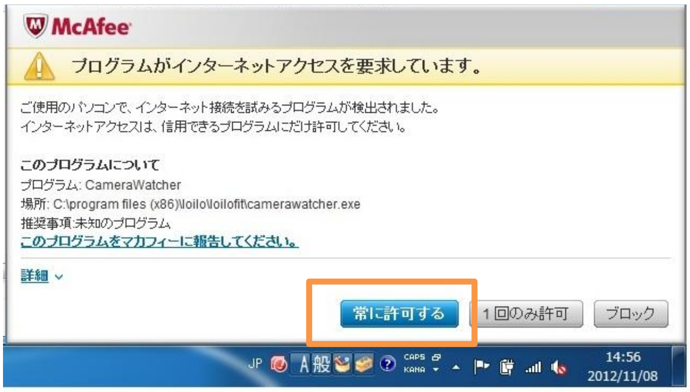


■ お手軽保存ができない(サードパーティー製セキュリティソフト)

McAfee(マカフィー)や Norton(ノートン)などのサードパーティー製ウィルス対策ソフトがお使いのパソコンにインストールされている方で、セキュリティ設定を高く設定されている場合には、以下のような設定をすることで、「お手軽保存」を使用することができるようになります。

McAfee の場合

McAfee でのファイヤーウオールの設定方法
右のような図が表示された場合、
「常に許可する」をクリックして下さい。

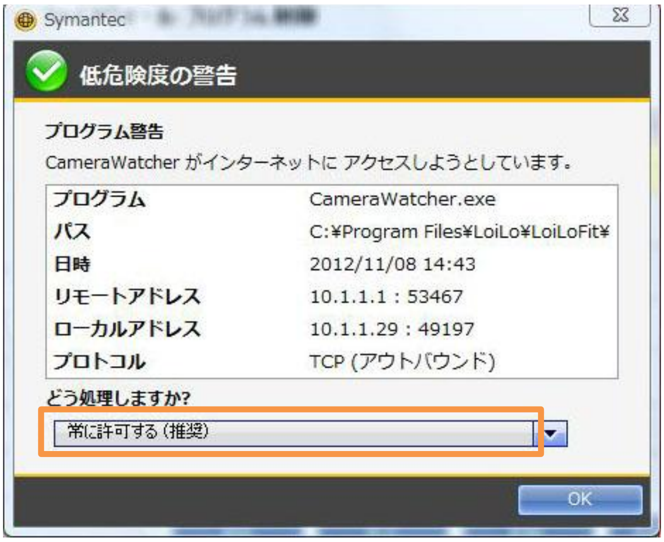


このようなメッセージも表示されずに、お手軽保存が開始されない場合、McAfee の設定にて、ファイヤーウォールを一時的にオフにしてから再度、お手軽保存をカメラから選んで実行してください。

McAfee の詳細な使い方は、McAfee のマニュアルをご覧ください。

ノートンの場合

ノートンでのファイヤーウオールの設定方法
右のような図が表示された場合、
プルダウンの「常に許可する(推奨)」を選択し、OK をクリックして下さい。



このようなメッセージも表示されずに、お手軽保存が開始されない場合、ノートンの設定にて、ファイヤーウォールを一時的にオフにしてから再度、お手軽保存をカメラから選んで実行してください。

ノートンの詳細な使い方は、ノートンのマニュアルをご覧ください。

13. USTREAM で、世界に向けて動画配信

13-1.　USTREAM でリアルタイム配信する

■ カメラを WiFi へ接続する

パソコンで配信する前に、カメラを WiFi に接続してください。その時、パソコンと、カメラを同じ LAN 内で接続してください。

カメラから WiFi 接続する方法は、カメラ本体の取扱説明書をご参照ください。

■ USTREAM のアカウントを作る

生放送を行うには、USTREAM で使用するアカウントが必要です。USTREAM のサイト上の案内にしたがって、アカウントを作成してください。

http://www.ustream.tv/login-signup

ご注意

USTREAM の使い方に関してのお問い合わせは、弊社ではお受け付けできません。USTREAM にお問い合せください。

USTREAM Producer をインストールする

USTREAM のサイト上の案内にしたがって USTREAM Producer をインストールしてください。

http://www.ustream.tv/producer

ご注意

USTREAM Producer に関してのお問い合わせは、弊社ではお受け付けできません。USTREAM にお問い合せください。

配信を開始する

まずはカメラの操作を行います。

[カメラ]　　宅内モニターを起動します。

Wi-Fi メニュー内の、「宅内モニター」ボタンを押して宅内モニターを起動して下さい。

※カメラを予め無線 LAN に接続できるように設定しておく必要があります。

カメラから WiFi 接続する方法は、カメラ本体の取扱説明書をご参照ください。

[カメラ]　　映像が表示されるのを待ちます。

カメラの液晶モニターに映像が表示されるまでしばらくお待ちください。

※エラーが表示される場合、Wi-Fi 共通設定がまだ行われていないか、間違っている可能性があります。

詳しくはカメラ本体の取扱説明書をご参照ください。

ここからは Windows パソコンでの操作になります。

[Win]　　USTREAM Producer を起動します。

ユーザー名とパスワードを入力して、ログインして下さい。

[Win]　　USTREAM Producer でカメラを追加します。

カメラショットの追加ボタンをクリックして、一覧から映像を表示するため「EverioVideo ショットの追加」を選択します。

[Win]

カメラへのログイン

カメラの映像を表示するためには、パスワードが必要です。カメラの追加を行うと、ログイン画面が表示されますのでユーザーID とパスワードを入力して OK を押してください。

初期ユーザーID: everio

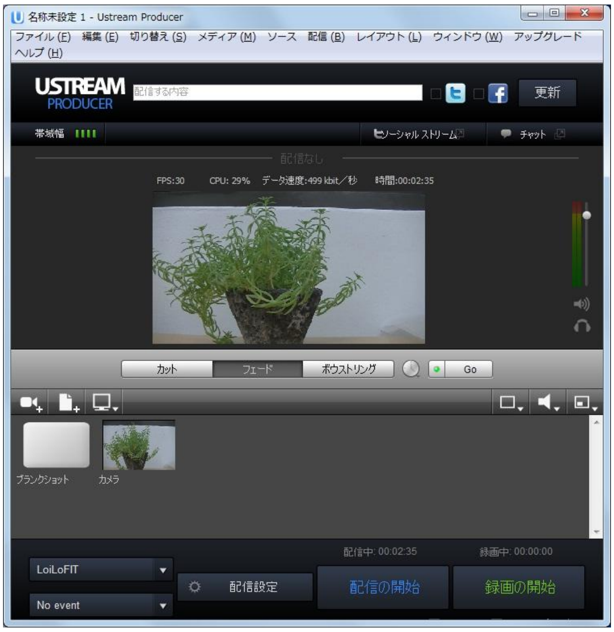
初期パスワード: 0000

[Win]

USTREAM Producer 上に映像が表示されるまでしばらくお待ち下さい。

カメラをクリックしてください。

プレビュー画面にカメラの動画が表示されます。



ご注意

通信切断などのエラーが表示された場合には、エラーの原因を修正した後に USTREAM Producer を再起動して下さい。一度エラーが出てしまうと、USTREAM Producer を再起動しない限り映像や音声は再生されません。

[Win] 音声の再生

カメラの音声を使用するには、カメラショットの追加から「EverioAudio」を追加して下さい。

[Win] 音声の選択

カメラの動画を選択して、右側の音声のマークより、EverioAudio を選択してください。これで、カメラに、EverioAudio が追加され、動画と音声が同時に配信できる準備が整いました。

映像と音声はそれぞれ独立していますので、マイク等と組み合わせたりして使うことも可能です。

[Win] 「配信の開始」をクリックすると USTREAM のチャンネルで配信を開始します。

14. 地図と一緒に、動画や写真を見る

14-1.　Google Earth と一緒に見る

動画や写真の位置情報を元に、Google 社製 Google Earth で撮影場所の衛星写真を表示します。
※この機能は位置情報が記録されている動画や写真で使用できます。

■ Google Earth のインストール方法

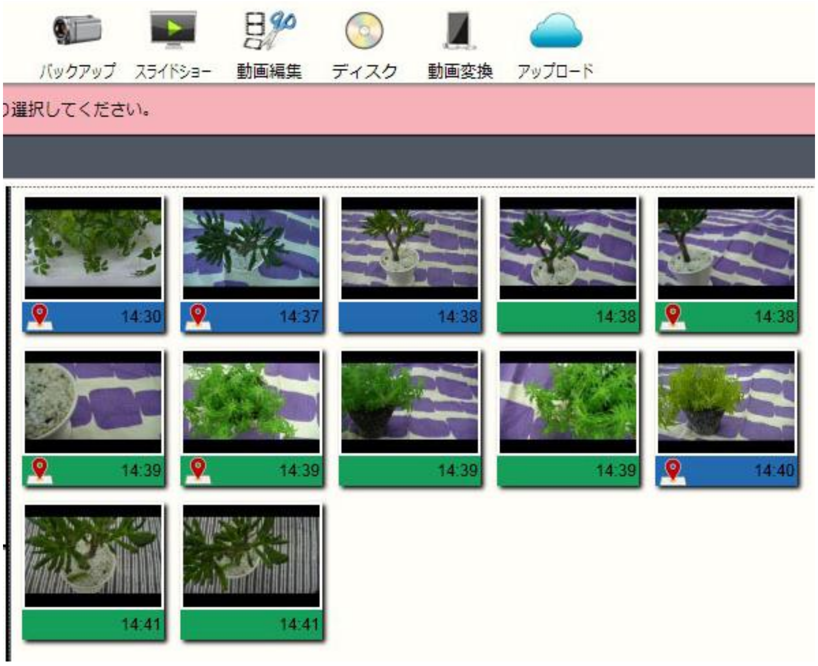
http://www.google.com/earth/index.html にアクセスし、最新版の Google Earth をダウンロードしてください。ダウンロードしたファイルをダブルクリックすると、インストールが開始されます。
※インターネットエクスプローラー7 ではダウンロードに失敗することがあります。Google 社のインターネットブラウザ Google Chrome をインストールして上記 Google Earth をインストールください。
※　Google Earth の詳細な使い方については、Google 社にお尋ねください。

■ 選択

位置情報が追加されている動画や写真のファイル

位置情報が記録されている、動画や写真には、位置情報マークがサムネイル左下に表示されます。

※位置情報のないファイルは日付トレイに表示されません。



>>>選択方法は、「4-2. 動画や写真、音楽を選択」をご参照ください。

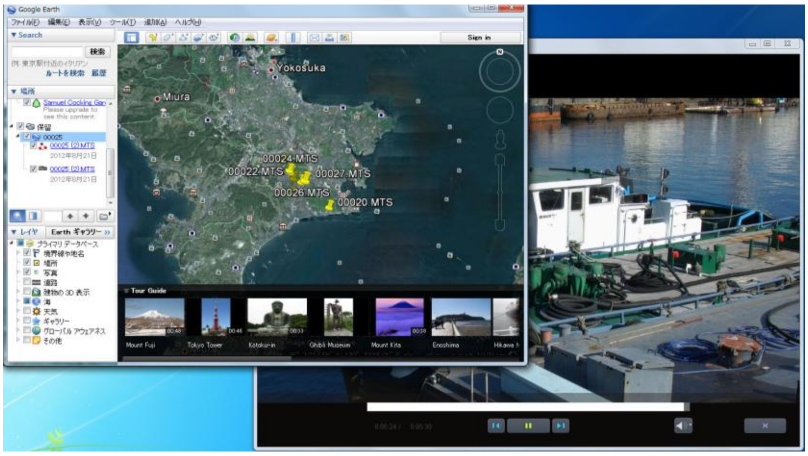
■ 再生

1. ファイルを選択したら、<再生>または<次へ>をクリックします。

2. スライドショーの設定画面が表示されるので、設定を行ってください。詳しくは、7-1. 全画面で再生ページをご参照ください。設定が完了したら、<OK>をクリックします。

3. 自動的に Google Earth が起動され、撮影した場所の位置情報を表示してくれます。

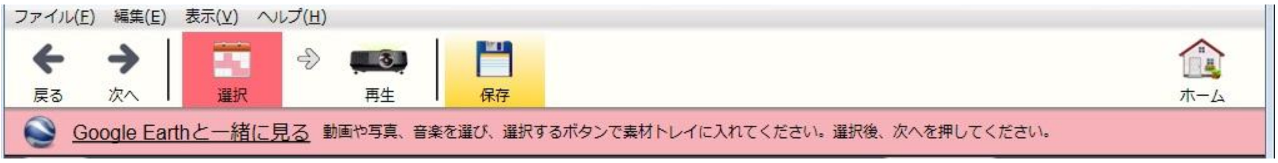
4. LoiLoFit for Everio で再生する動画や写真を切り替える度に、Google Earth にて位置情報を表示します。
LoiLoFit for Everio のプレビュー画面で<次に移動>ボタンをクリックすると、スキップして次の動画・写真を表示します。同時に、Google Earth でも LoiLoFit for Everio のプレビュー画面で表示されている動画・写真の撮影した場所へ移動します。



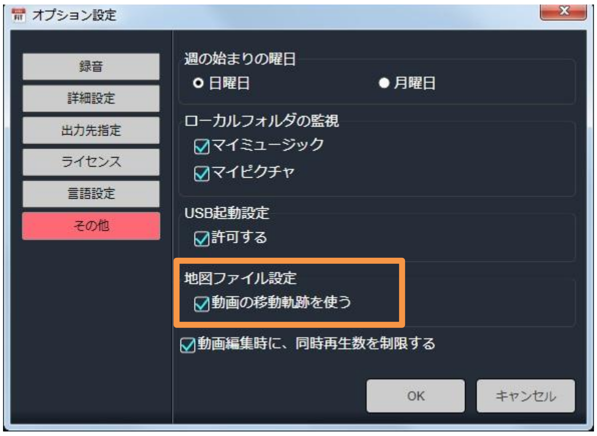
5. Google Earth 起動後、LoiLoFit for Everio 上で動画や写真が切り替わる度に、右記のように表示されますが、「常に実行」を 1 度クリックすれば、以後表示されなくなります。

■ 保存

Google Earth で見る地図データ(kmz)ファイルが LoiLoFit for Everio で保存できます。
保存をするには、上部にある<保存>ボタンをクリックします。
ファイルの種類を地図データ(kmz)ファイルに設定して、ファイル名をつけ、保存をクリックすれば完了です。



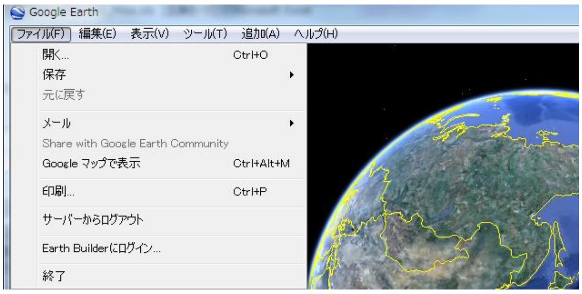
※ファイルメニュー>オプション設定>その他タブ内>地図ファイル設定にて、動画の移動軌跡を使うをチェックすると、動画内に記録されている位置情報(GPS)の移動軌跡情報を地図データへ保存できます。
チェックを外すことで、撮影開始地点のポイント情報のみが保存されます。
移動軌跡情報を持った地図データ(kmz)ファイルの閲覧方法は、以下項目を参照ください。また、Google Earth の詳細な使い方については、Google 社にお尋ねください。



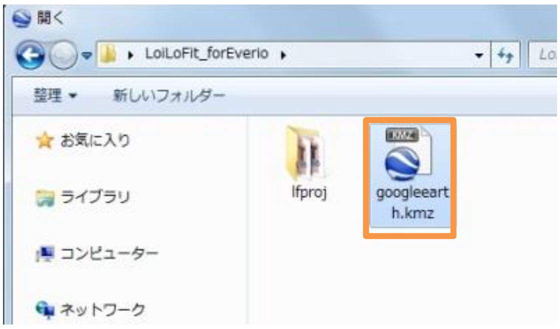
■ Google Earth で保存した KMZ データを見る

※　Google Earth の詳細な使い方については、Google 社にお尋ねください。

1. Google Earth の<ファイル>の、<開く>をクリックします。

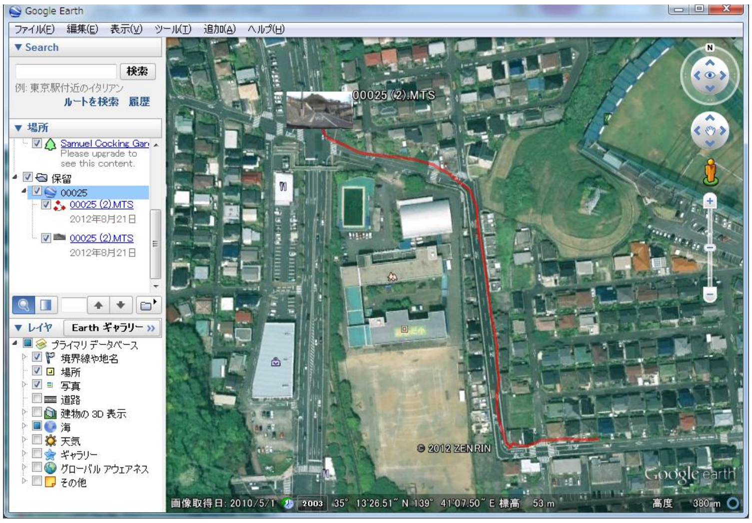


2. 保存先からデータを選択して、<開く>をクリックします。



3. <場所>にデータが表示され、<ツアーを再生>ボタンをクリックすれば、地図上で撮影した場所へ移動します。

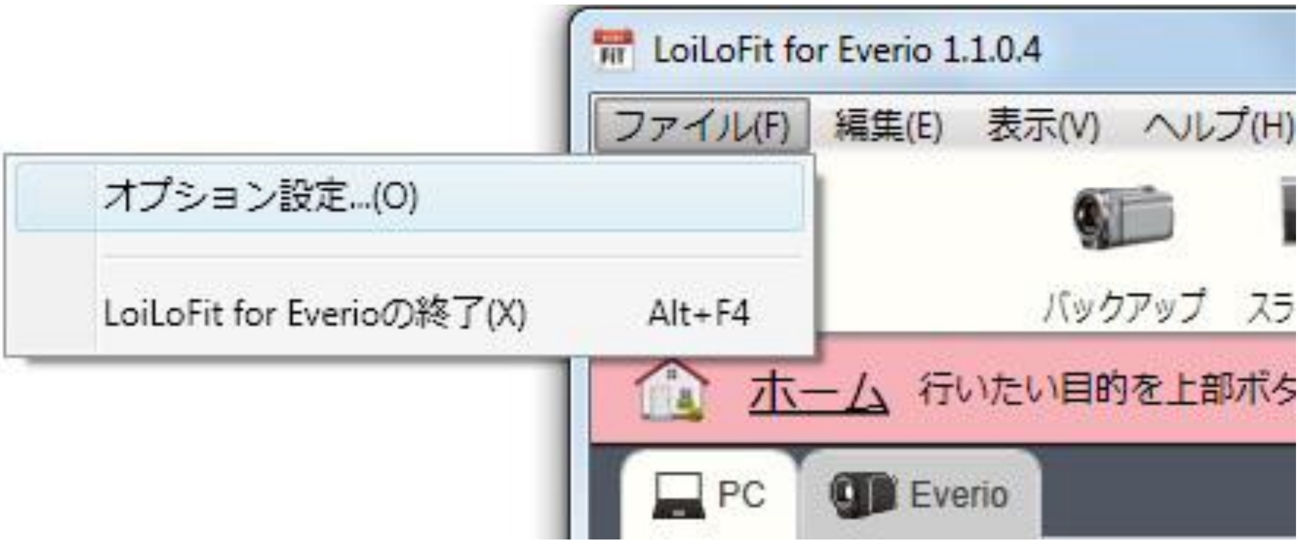
4. Google Earth で、<場所>に表示されているデータの名前をダブルクリックすると、そのデータを撮影した場所へ移動します。



5. データの名前に 3 つの赤いボタンがあるものを選択して、<ツアーを再生>ボタンをクリックすると、進行経路をたどりながら移動します。

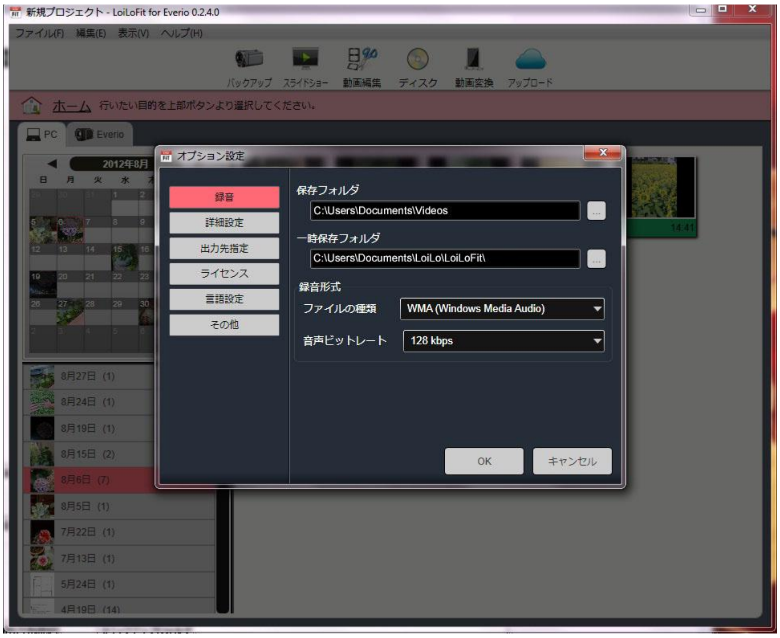
15. オプション設定

15-1. ファイルメニュー



ファイル	**オプション設定** 12-2 オプション設定を参照ください。 **LoiLoFit for Everio を終了** LoiLoFit for Everio を終了します。
編集	**全て選択** サムネイルや、タイムラインバーを全て選択します。 **選択解除** サムネイルや、タイムラインバーの選択を解除します。
表示	**最新の情報に更新する** カレンダーに表示する動画や写真、音楽を最新の状態を表示するように更新します。
ヘルプ	**マニュアルを開く** マニュアル(この文書の最新版)のダウンロードページを開きます。 **サポート窓口** サポートサイトへ移動します。 **最新版アップデートを確認** 最新版のインストール先を表示します。 **バージョン情報** バージョン情報を表示します。

15-2.　オプション設定

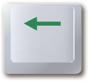
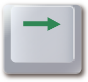


録音	アフレコ音声録音時の設定ができます。 **<保存フォルダ/一時保存フォルダ>、** **<録音形式(WAV(PCM), WMA)>、** 有料版のみ　AAC が録音できます。 **<録音時の音声ビットレート>** ビットレートを大きな数字にすると、高音質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。
詳細設定	**<セーフモード>** 動画の再生が滑らかでなくコマ落ちしてしまうパソコンで、このセーフモードにチェックをつけますと、動画の画質を落として、滑らかに再生させることができます。 画質を落とした再生動画の画質は、悪くなりますが、保存される動画は、元の解像度になります。 **<内蔵コーデック　H.264 プレビュー時に画質を落として負担を低減する>** 動画の再生が軽快でないとき、チェックをつけることで画質を落として再生します。 画質を落とし、パソコンの負担を軽減することで、滑らかに動画を再生できるようになる場合もあります。 **<ネットワーク　プロキシの設定を自動的に検出する>** YouTube へのログインに沢山の時間がかかる場合、チェックをはずすことで、早くログインできる場合があります。
出力先指定	**<バックアップフォルダ>** カメラ, SD, HDD, からパソコンへの保存先を変更できます。保存先を変更しますと、パソコンへバックアップ済みのファイルを、変更先へコピーします。
ライセンス	ライセンス情報の表示
言語設定	表示言語の変更ができます。
その他	**<週の始まりの曜日>** カレンダーの表示方法を、日曜日始まりか、月曜日始まりかを変更できます。 **<ローカルファイルの監視>**

	カレンダーにマイミュージック、マイピクチャ内の動画、写真、音楽を表示するか否かを設定できます。 **<USB 起動設定>** 許可するをチェックすることでカメラを USB 接続した時、LoiLoFit for Everio を自動起動することができます。 **＜地図ファイル設定＞** 動画の移動軌跡を使って、地図ファイルを作成できます。 **＜動画編集時に、同時再生数を制限する＞** 動画編集時のタイムラインに追加できるファイル制限を変更できます。 通常時は、追加できるファイル数を制限しています。 **LoiLoFit for Everio は編集内容を制限しています。** これは編集内容が複雑になると、CPU の負担やメモリの消費が増えるため、快適にお使い頂けなくなる事があるためです。 同時に再生するように並べることのできる、素材や文字は以下の様になっています。 ・動画または静止画　2 個まで ・音声　2 個まで ・文字　2 個まで 　※但し、「スタッフロール」は音声とのみ同時に使用できます。 この制限は[ファイル」メニューの[オプション設定]プシその他]→[動画再生時に、同時再生数を制限する]の、チェックを外せば解除できます。編集の制限を解除した場合の動作については、非サポートとさせて頂きます。

16. キーボードショートカット

LoiLoFit for Everio で使用できるキーボードショートカットをご紹介します。

スペースキー		タイムライン	再生/一時停止
矢印キー(左)		フルスクリーン	前のファイルへ
		タイムライン	コマ戻し
		スライドショー	前のファイルへ
矢印キー(右)		フルスクリーン	次のファイルへ
		タイムライン	コマ送り
		スライドショー	次のファイルへ
Delete キー		タイムラインバー	バックアップ済みのファイルを削除
ESC キー		フルスクリーン	フルスクリーン解除
Control +左右矢印キー	または	タイムラインバー	タイムラインバーを 1 フレームごとに移動
Control +Z キー		タイムラインバー	元に戻す
Shift +Control +Z キー		タイムラインバー	やり直し
Ctrl+A　キー		ファイル選択	全て選択する

17. 動作環境

<table>
<tr><td></td><td>再生・バックアップ</td><td>動画編集・ディスク作成・動画変換・アップロード・再生(1080p)</td></tr>
<tr><td>OS</td><td colspan="2">Windows® XP Home Edition/Professional(プリインストール版、SP3)
Windows Vista® Home Basic/Home Premium(32 ビット版/64 ビット版、プリインストール版、SP2)
Windows® 7 Home Premium(32 ビット版/64 ビット版、プリインストール版、SP1)</td></tr>
<tr><td>CPU</td><td colspan="2">Intel® Core™ 2 Duo 2GHz 以上
(※1080p 再生時：Intel® Core™ 2 Du、Intel® Core™ シリーズ 2 コア 3GHz 以上または、Intel® Core™ 2 Duo、Intel® Core™ シリーズ 4 コア 2GHz 以上)</td></tr>
<tr><td>メモリ</td><td colspan="2">2GB 以上</td></tr>
<tr><td>GPU</td><td>NVIDIA® Geforce 6000 シリーズ以降
ATI Radeon9600 以降
Intel 965 以降</td><td>NVIDIA® Geforce 8000 シリーズ以降(8800GTX,8300 を除く)
ATI RadeonHD2000 シリーズ以降(2900 を除く)
Intel G45 以降</td></tr>
<tr><td>VRAM</td><td colspan="2">256MB 以上</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="2">Microsoft .NET Framework 3.5 sp1 以降がインストールされている必要があります。
動画の編集・再生をする場合は、Intel® Core™ i7(4 コア)の CPU を搭載したパソコンのご使用をお奨めします。
Windows XP のみ、AVCHD ディスクの再生には、UDF2.5 が必要です。
※プログレッシブモードで記録されたファイルは、動画編集で扱うことができません。</td></tr>
</table>

18. 対応形式

入力	
動画	".wmv", ".mts", ".m2ts", ".m4v"(※1),
音楽	".wma", ".wav", ".aac"(※1), ".mp3"(※2)
静止画	".jpg", ".jpeg", ".png"

出力	
動画	".wmv", ".lfjts"(独自形式), "m4v "
音楽	".wma", “.wav”, ".aac"

※1: 有料版のみ対応

※2: OS コーデックを使用するので、環境によって音ズレする場合があります。
音ズレする場合は mp3 を wav に変換してご使用ください。

※このマニュアルは、平成 25 年 2 月 28 日現在のものであり、マニュアル内の情報は、最新の情報とは限りません。

※ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。